

Journal of IPCs vol.36

<http://www.cc.oita-u.ac.jp/journal/vol.36.pdf>

▶ 巻頭言

『図書館へ行こう』 岸田 哲子

▶ 専任教員紹介

『学習支援システムの開発と授業での活用』 吉崎 弘一

▶ 業務報告

『ファイアウォールの更新について』 吉田 和幸

『教育情報システムの更新について』 吉田 和幸

『標的型メール攻撃の手口と対応策について』 島岡 章

平成26年度委員会・会議

平成26年度業務記録 / トラブル対応記録

平成26年度教室使用状況

システム利用統計

キャンパスネットワークシステム構成図

基盤情報システム構成図

▶ 委員会名簿

▶ センター利用案内

情報基盤センター（旦野原キャンパス）

医学情報センター（挾間キャンパス）

学認の利用について



大分大学学術情報拠点 (情報基盤センター・医学情報センター)

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 TEL 097-554-7985 FAX 097-554-7990

情報基盤センター <http://www.cc.oita-u.ac.jp/> 医学情報センター <http://www.med.oita-u.ac.jp/mic/>

発行 2016年3月 情報基盤専門委員会広報部会

図書館へ行こう！

学術情報拠点長
岸田哲子

拠点長を引き継いではや2箇月、医学図書館とは異なることが多くて規模も大きく、今もまだ模索しながらの日々です。

且野原の図書館に続いて挟間の医学図書館も耐震工事が終わり、ともにその後順調に利用者が増えています。従来の静謐な閲覧室だけでなく、自由に討論や発表の出来るアクティブスペースとしてラーニングコモンズやグループ学習室を設けたことによるところが大きいと思われま

す。このように時代のニーズに応じて21世紀の図書館は進化していかなければならないと思うものの、その一方で、大学図書館として、若者の活字離れを止めなくてはならないとも感じています。

ニュースはネットを通じて知り、新聞は読まない・・・そのような学生が増えてきています。マスコミによってお膳立てされたコースを辿るのではなく、数ある記事の中からこれはという内容を選んで読み、日本で、そして世界で現在起きている出来事を自分の目で確認し理解する力を持って欲しいと思います。

そのためには、まず活字に親しむすなわち本を読むことです。しかし、どんな本を読んだらよいかわからないという学生も少なくないでしょう。

今年10月に行われた第2回ビブリオバトルでは、本好きの学生達によって10冊余りの本が紹介されました。数学から農業まで、幅広いジャンルの本が挙がりました。ぜひ今後も続けていきたい催しです。また、参加者を募って読書会を開き、それぞれの本の面白さを知って貰おうという計画も進行中です。

このような企画を提供するのも大学図書館の使命と考えています。一人でも多くの学生に「図書館へ行こう！」と思って貰えたら、職員一同の励みになります。

学習支援システムの開発と授業での活用

学術情報拠点(情報基盤センター)

吉崎弘一

2015年4月に、学術情報拠点情報基盤センターに着任しました。今後、情報基盤センターの一員として、学内の情報環境の整備や情報セキュリティの向上に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。以下では、私が現在取り組んでいる学習支援システムに関する研究を、簡単にご紹介します。

学習時に用いる教材や課題等の学習資源を管理し、利用者の状況や操作に応じて提供するシステムを、一般に学習支援システム、またはLMS(Learning Management System)と呼んでいます。オープンソースソフトウェアとして国内外で広く利用されている moodle[1]や Sakai[2]、そして

本学でも利用している WebClass[3]などが、その代表例になります。近年の教育現場への情報環境の浸透と共に、特に高等教育機関においては、学習支援システムが授業や自己学習で使われることは珍しくはなくなりました。この学習支援システムは、何らかの知識を自己学習により効率的に習得するためのWBT(Web Based Training)システムとして使われることも多いですが、その利用目的に応じたさまざまな利用形態が提案されています。特に教育機関での対面教育活動と共に学習支援システムを用いる場合は、授業目的に応じて、学習支援システムを効果的に活用するための授業設計が重要になります。また、学習支援システムは学習を効果的・効率的にするための道具に過ぎないので、直感的に操作できるユーザーインターフェイスを実装し、システムの操作習得に要する時間を最小限にすることも重要だと考えています。

このような認識に基づき、2009年より学習支援システム LePo(図1)[4]の開発を開始し、同システムを用いた授業実践例を報告してきました。この学習支援システムでは、教育機関での各回の授業ごとに、その学習目標の達成度を学習者が自己評価する活動を定着させることを念頭に、システム開発をしました。同システムでは、システムに登録する授業教材に、予め教授者が学習目標と、学習目標の達成度を評価するための課題を設定しておきます。学習者は、毎回の授業後に学習目標の達成度を数値的に自己評価することを必須にしています。さらに、教授者も学習者と同じ個々の学習目標の観点から学習者の到達度を評価することが出来るため、学習者は自己評価の妥当性も確認できます[5]。学習目標の達成度は、数値的に自己評価するだけではなく、学習内容を省察した記録をシステム上に残せるようにすることで、簡易なeポートフォリオとしての機能も併せ持つ学習支援システムとして設計してい



図1 学習支援システム LePo

ます(ちなみに LePo は Learning Portfolio の略です)。自律学習を促進するためのこのような基本機能を、Ajax を用いてページ遷移を極力なくしたユーザーインターフェイスで実現しています。

また、2014 年からは、この学習支援システム LePo に、Web 上の情報を用いた調べ学習を効率的に行うためのコンテンツキュレーション機能を実装しました[6]。この機能を用いることで、学習者は任意の Web ページ上のテキスト、画像、動画等の情報を簡単な操作で学習支援システムに集約し、その学習者がシステム上で入力したテキストやアップロードした画像と共に整理することで、独自の文脈を持つキュレーション成果物を構成することができます(図 2)。この機能は、インターネット上に広く分散した情報を参照しながら、学習者独自のデジタルス

ラップブックを作成できるようにしたことに加え、予めキュレーション用のページに、教授者が特定の情報を配置しておくことで、教育的な「足場かけ」を伴う調べ学習にも利用できるようにしています。また、学習者独自の視点で収集・整理した調べ学習の成果物は、学習支援システムの特定のコース内で、他の学習者と共有し相互評価をすることもできます。これまでに、このコンテンツキュレーション機能を研究論文の執筆指導時の情報収集・整理の道具として活用し、その文章執筆時における有用性を検証してきました[7]。

現在取り組んでいる研究について簡単に記載してきましたが、今後もさまざまな学習活動を効果的・効率的にする機能を学習支援システムに実装し、その活用方法を提案していくことを考えています。

参考資料

1. moodle, <https://moodle.org/>
2. Sakai, <https://sakaiproject.org/>
3. WebClass, <http://www.webclass.jp/>
4. LePo, <https://lepo.info/>
5. “学習目標の達成度評価機能を持つ学習支援システムの開発”, 吉崎弘一, 日本教育工学会第 28 回全国大会, pp.647-648, 2012
6. “コンテンツキュレーション機能を持つ学習支援システムの試作”, 吉崎弘一, 堀田博史, 情報処理学会第 77 回全国大会講演論文集, vol.4, pp.521-522, 2015
7. “コンテンツキュレーション活動が文章構成に及ぼす効果の確認”, 吉崎弘一, 堀田博史, 情報処理学会研究報告教育学習支援情報システム(CLE),2015-CLE-17(17), pp.1-5, 2015

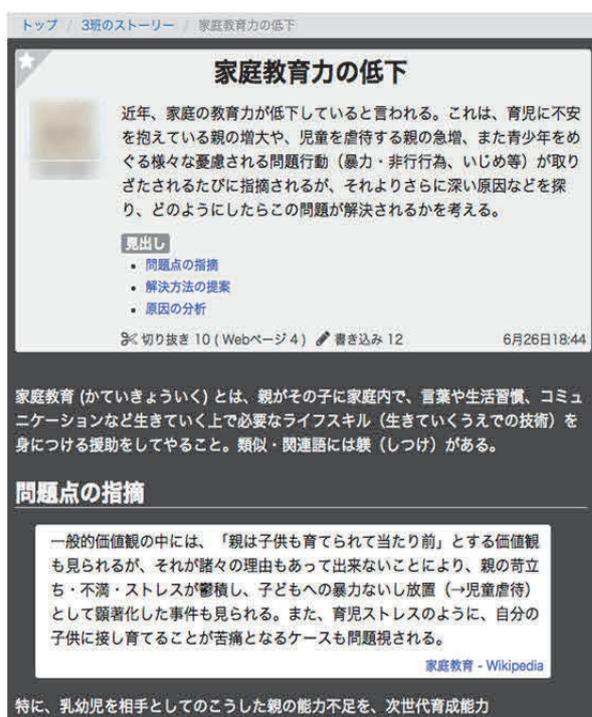


図 2 コンテンツキュレーション機能

ファイアウォールの更新について

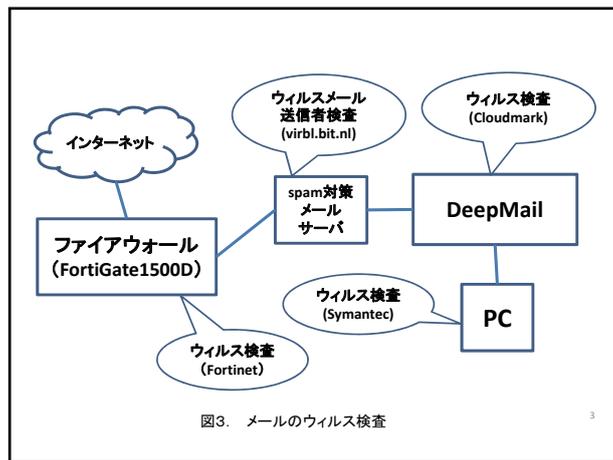
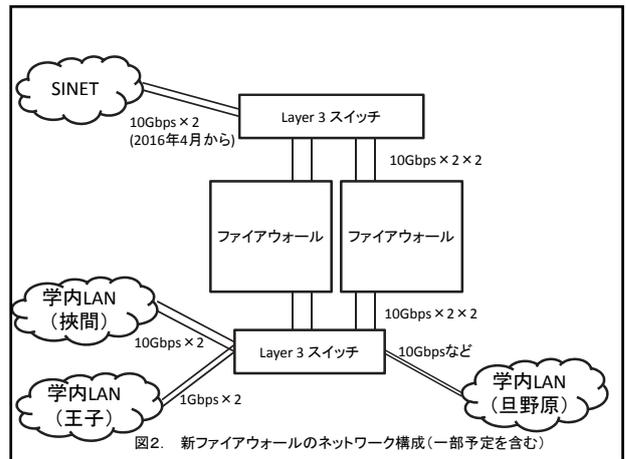
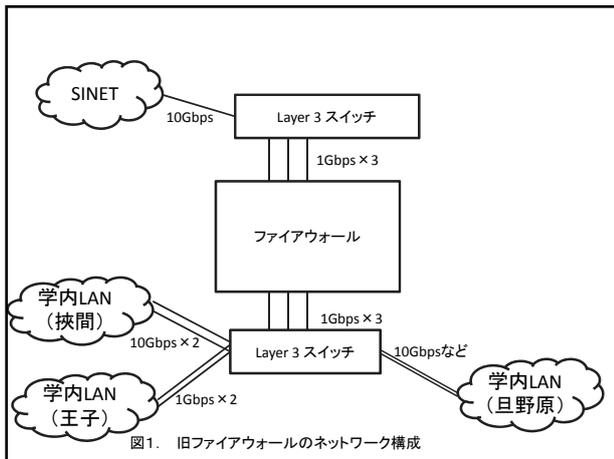
学術情報拠点（情報基盤センター）

吉田和幸

2010年4月から運用してきたファイアウォールを2015年4月に更新した。旧ファイアウォールの付近のネットワーク構成を図1に示す。ファイアウォールは、1Gbps×3のLAG (Link Aggregation)構成であり、ファイアウォール自身は冗長化されていなかった。2016年4月から運用を開始する次期 SINET (SINET5) で、大分大のアクセス回線を10Gbps×2のLAG構成に増強することを予定しており、それに合わせて新ファイアウォールでも10Gbps×2のLAG構成としている。さらに、ファイアウォール自身を冗長化し障害対策を強化した。

PaloAlto社 PA4050 (旧ファイアウォール) から Fortinet社 FortiGate1500D (新ファイアウォール) に更新したため、基本機能は同様であるが、マルウェアの通信先であるC&Cサーバ (Command & Control server) との通信の遮断方式が異なっている。PaloAlto社では、DNSサービスでドメイン名(例えば www.example.com)からIPアドレス(例 192.0.2.1)を問い合わせるパケットを遮断することにより、C&Cサーバとの通信をできないようにしていた。FortiNet社では、DNSサービスには介入せず、WEBアクセスの段階で、それぞれのURLの分類、レーティングに基づいて許可するか遮断するか決定している。Webページは日々、増えているためFortiNet社の分類は、完全ではなく、結構間違っている。そのため修正依頼はWEBからできるようになっている。必要なWebページにアクセスできないときは情報基盤センター・医学情報センターに問い合わせしてほしい。

ファイアウォールで行うウイルス検査は、proxy方式とstream方式がある。proxy方式はファイアウォールでいったんファイルを展開し、検査する方式であり、検出精度は高いが、ネットワークのスループットは大きくない。stream方式は、パケット1つ1つをみてウイルスを検査する方式であり、検出精度はそれほど高くないが、スループットを大きくすることができる。旧ファイアウォールからスループット重視でstream方式を採用しており、新ファイアウォールでもstream方式としている。stream方式でウイルス検査をすり抜けることに使われることがあるIP fragmentは禁止しているが、ファイアウォールでのウイルス検査は万全ではない。そのため、メールサーバ (DeepMail) や PC (Symantec EndpointProtection) などそれぞれの段階でのウイルス検査は重要である (図3)。



教育情報システムの更新について

学術情報拠点（情報基盤センター）

吉田和幸

2011年4月から運用している情報基盤センター・医学情報センターのシステムのうち学生用PCを中心とする教育情報システムを2015年3月に更新した。今回導入したPCの仕様は、表1のとおりデスクトップ型2機種、ラップトップ型1機種である。デスクトップPCの配置は、従来と同様に表2のとおりである。

表1. PCのスペック

	デスクトップ1	デスクトップ2	ラップトップ
CPU	Core i3	Pentium G	Core i3
Memory	8GByte	2GByte	4GByte
Disk	320GByte	320Gbyte	320GByte
OS	Windows8.1Pro(64bit)	Windows 7 Pro	Windows 8.1Pro (64bit)

表2. デスクトップPCの配置

キャンパス	講義室等	台数
且野原	情報基盤センター 第1実習室	71
	情報基盤センター 第2実習室	61
	情報基盤センター 第3実習室	10
	教育福祉科学部 情報システム室(1)	33
	教育福祉科学部 情報システム室(2)	24
	経済学部	51
	教養教育 LL教室	75
	図書館	20
挾間	情報処理実習室	120
	自己学習室	60
	チュートリアル室	26
	臨床講義棟ホール	20
	看護学科1F 標本資料室	10

且野原キャンパスのPCは、ディスクレスブート方式として、PCの電源投入時に毎回ブートサーバからブートディスク相当のデータをダウンロードする。そのため、ウィルス等の

マルウェアに侵入されても、電源の off/on で、正常な状態に回復できる。個々の PC のディスクはキャッシュとしてのみ利用している。挟間キャンパスの PC は、PC 管理ソフトウェアの瞬快によりマルウェアに侵入を監視、排除している。なお、PC には、ウィルス対策ソフトウェアとして Symantec Endpoint Protection を導入し、マルウェアの侵入を防いでいる。

ブートサーバ、瞬快サーバ、且野原キャンパスで利用している授業支援システムの管理サーバ、後述するオンデマンド印刷のためのプリンタ管理サーバ等 14 台のサーバを仮想化し、6 台の PC サーバ（表 3）上に配置している。仮想化したことにより夏季休業中等の縮退運転時にサーバ（ゲスト OS）の配置を調整することによりサーバ（ハードウェア）の一部を停止できるようになった。

プリンタは、両キャンパスともオンデマンド方式とし、PC から印刷要求後、プリンタコントローラで学生証等で認証することにより印刷を開始する。これに合わせて、且野原キャンパスでは図書館と情報基盤センターのみに高速なプリンタを集中して配置した。

表 3. サーバのスペック

	サーバ 1	サーバ 2
台数	2 台	4 台
CPU	Xeon E5-2670(10 コア)×2	Xeon E5-2603(4 コア)×2
Memory	112GByte	40Gbyte
Disk	1.2TByte×8 (RAID5)	900GByte×4 (RAID0+1)
仮想化ソフトウェア	VMware vSphere Hypervisor 5	VMware vSphere Hypervisor 5

※情報教育システムのパソコンにインストールされているソフトウェアについてはキャンパスごとにホームページを参照してください

且野原キャンパス	https://www.cc.oita-u.ac.jp/modules/inpico/index.php?content_id=23
挟間キャンパス	http://www.med.oita-u.ac.jp/mic/student05/2015/1-1.html

※オンデマンド方式の印刷方法についてはキャンパスごとにホームページを参照してください

且野原キャンパス	https://www.cc.oita-u.ac.jp/modules/inpico/index.php?content_id=2
挟間キャンパス	http://www.med.oita-u.ac.jp/mic/student05/2015/2-1.html

標的型メール攻撃の手口と対応策について

日本年金機構をはじめ標的型メール攻撃による個人情報の漏えいが繰り返し発生しています。本学でも5月に標的型メール攻撃が発生したことから教訓を交えて標的型メール攻撃の手口と対応策について2015年9月（狭間キャンパス）と12月（旦野原キャンパス）に説明会を開催しました。これは9月に開催した説明会で使用した資料です。一部公開不可の部分を修正しています。

本学に届いた標的型メール攻撃
の手口と対応策について

大分大学学術情報拠点
(医学情報センター)
島岡 章

大分大学医学情報センター

2015.9.30

病理学会からの標的型メールによる
ウイルス感染事例の概要

- ・2015年6月1日に、日本病理学会から会員あてに届いたメールの添付ファイルにウイルスが含まれていた。
- ・本学では16人がこのメールを受信した。
- ・うち2人が添付ファイルをクリックして解凍し、
- ・1人はさらにそれを実行して、**ウイルスに感染した。**
(年金機構に届いたのと同じウイルス)
- ・ワクチンソフトの**プロアクティブ脅威防止機能**が、ウイルスの外部への通信(の一部)を遮断した。
- ・大分県警と文部科学省から、**C&C サーバ**へのアクセスをしていると、調査依頼をうけた。
- ・このウイルスに感染したパソコンが外部と通信を行っていた。
- ・いずれも送受信データ量は少なく、**情報の流出はなかったと判断した。**
- ・6月4日に、ワクチンソフトがウイルスを駆除し、外部との通信は止まった。
- ・このパソコンには、**患者ID、患者氏名が、病理所見とともに書かれたファイルが多数保存されていた。**

プロアクティブ脅威防止機能

プログラムの動き(ビヘイビア、振る舞い)を観察して、脅威かどうかを判断する。
ウイルス定義ファイルがない、まったく未知のマルウェアを検出できる技術

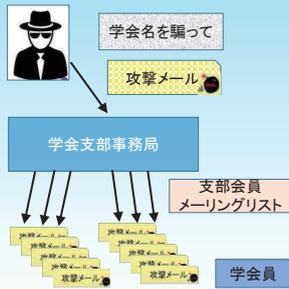
C&Cサーバ

Command and Control Server
パソコン内部に侵入したウイルス(トロイの木馬)は、外部のサーバに指令を求めてアクセスする。(httpsが使われる)C&Cサーバは、指令を出し、新たなウイルスをダウンロードさせ、パソコンから情報を送信させ、それを受け取る、概念的なサーバ(群)の呼び名である。

以前は、Webサイトが乗っ取られると、ホームページの改ざんや悪意のあるサイトへの誘導が行われたが、この頃は、正規Webサイト内部に管理者が知らないページを作り、C&Cサーバとして、指令を出したり、情報を受け取ったりするのに利用される。

正規のサイトは正常に機能した状態で、サイトの管理者も知らないうちにC&Cサーバとして悪用されるために、その判定が難しく、その実態は時々刻々変化する。

本学に届いた標的型メールの事例



学会支部事務局に届いたメール

From: "日本病理学会" [mailto:pathology-admin@excite.co.jp]
 Sent: Friday, May 29, 2015 9:41 AM
 To: [redacted]
 Subject: 病理診断コンサルテーション等、希少がんの病理診断に対する国の支援政策についてのアンケート

各位様

日本病理学会 学術評価員

この件に関して現状把握と皆様のお考えを伺いたく、下記アンケートにご回答くださいますよう、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。返信は日本病理学会事務局へ「希少がんアンケート」としてご返信ください。
 なお、回答期間が非常に短く大変に恐縮ですが、出来ればすべてのご施設からのご回答を希望いたします。よろしくお願い申し上げます。
 また常勤病理医不在登録施設に関しては、代理の方がご回答くださいますようお願い申し上げます。



学会地方会事務局がメーリングリストに流した鑑

Subject: 【日本病理学会九州沖縄支部】病理診断コンサルテーション等、希少がんの病理診断に対する国の支援政策についてのアンケート
 Date: Mon, 1 Jun 2015 09:37:19 +0900

日本病理学会九州沖縄支部 会員 各位

拝啓
 平素よりお世話になっております。

病理診断コンサルテーション等、希少がんの病理診断に対する国の支援政策についてのアンケートが本部より支部事務局宛に届きましたので、お知らせいたします。問い合わせ先等、詳細は添付ファイルをご覧ください。未回答の該当施設はご回答いただけますようお願い申し上げます。

敬具



学会地方会事務局に届いたメール

From: "日本病理学会" [mailto:pathology-admin@excite.co.jp]
 Sent: Friday, May 29, 2015 9:41 AM
 To: [redacted]
 Subject: 病理診断コンサルテーション等、希少がんの病理診断に対する国の支援政策についてのアンケート

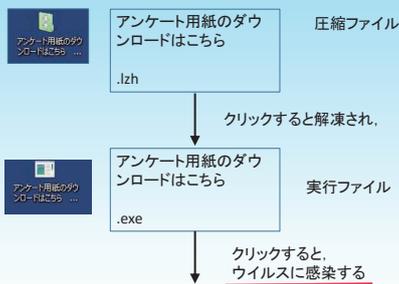
各位様

正しいアドレスは、 jsp-admin@umin.ac.jp

この件に関して現状把握と皆様のお考えを伺いたく、下記アンケートにご回答くださいますよう、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。返信は日本病理学会事務局へ「希少がんアンケート」としてご返信ください。
 なお、回答期間が非常に短く大変に恐縮ですが、出来ればすべてのご施設からのご回答を希望いたします。よろしくお願い申し上げます。
 また常勤病理医不在登録施設に関しては、代理の方がご回答くださいますようお願い申し上げます。



添付ファイル



(6/1) プロアクティブ脅威防止機能による通信の遮断

[SID: 27899] System Infected: Backdoor:Emdivit Activity 2 攻撃を遮断しました。このアプリケーションのトラフィックを遮断しました。#DEVICE#HARDDISKVOLUME3#USER#HARUTO#APPDATA#LOCAL#TEMP#VMATER.EXE

ログの名前(N):	Application
ソース(S):	Symantec Network Protection ログの日付(D): 2015/06/01 10:01:22
イベント ID(E):	400 タスクのカテゴリ(C): なし

クリックし感染した直後

(6/4) パターンファイルによるウイルスの検出駆除

ファイル名	リスク	処理	リスクの種類
アンケート用紙のダウンロード	Trojan.Gen	検疫	圧縮ファイル: ウ...
vmater.exe	Backdoor:Emdivitgen1	削除によってク...	圧縮ファイル: ウ...
nsemail-2.eml	複数のリスク	検疫	圧縮ファイル: ウ...
アンケート用紙のダウンロード	Trojan.Gen	検疫	圧縮ファイル: ウ...
vmater.exe	Backdoor:Emdivitgen1	削除によってク...	圧縮ファイル: ウ...
nsemail.lzh	複数のリスク	検疫	圧縮ファイル: ウ...

標的型攻撃の4つの段階

- ① 初期潜入段階
 - ・ 標的型メール
 - ・ 悪意のあるウェブページ
 - ・ USBメモリ感染など
- ② 攻撃基盤構築段階
- ③ システム調査段階
- ④ 攻撃最終目的の遂行段階

標的型メールは、手間をかけている

1. 事前に、情報収集している
 - ・ 流れているメール、メールアドレス
 - ・ ネットワーク上の機器の脆弱性
2. 標的に合わせてメールを作っている
3. ウイルスを加工して、ワクチンソフトで検出できないことを確認して添付している
パターンファイルでは“検出できない”
4. 何台もの C&C サーバを準備している
 - ・ 新たなウイルスのダウンロード
 - ・ 指令を出す
 - ・ 情報を受け取る
- (5. 情報をお金に変える。)

代表的な標的型攻撃のシナリオ

- ① なんらかの手段で標的企業のメールアドレスなどを入手
- ② ウィルス付きの電子メールが、標的となる人へ送られる。または標的となる組織だけが感染するWebサイトを用意し、訪問した人がウィルスに感染する
- ③ 内部に入り込んだ遠隔操作ウィルスが、標的となった組織で感染を広げ、データ収集サーバを介して機密情報を盗む

侵入したウイルスは、静かに潜伏している

- ・ 感染したパソコンやネットワークを流れる情報の収集をし、C&C サーバに送信する。
- ・ C&C サーバに頻繁にアクセスし、指令を待つ。
- ・ 様々な機能を持つマルウェアを次々とインストールする
- ・ 発見されないように、表立って目立つことはしない。

標的型メールの経験から教訓とすべきこと

1. 標的型メールの見分けの難しさ
 - == 多数のメールが届くと、誰かが添付ファイルを開いて感染する
 - ==> 研修・訓練をすると、侵入確率は低くなる
2. メーリングリストへのメールの転送の怖さ
 - == 1通のメールが、多数の宛先に送信される。
 - == 差出人が、実在する職員の名前となる
 - == 事務職員は、毎日のようにやっている
 - ==> よそから来たメールを、内容を確認しないで、多数の宛先に転送してはならない

標的型メールの経験から教訓とすべきこと

3. ワクチンソフトの定義ファイル以外の機能の評価
 - ・ プロアクティブ脅威防止機能
 - ・ ネットワーク脅威防止機能
 - ・ フルスキャンの再評価（侵入し隠れて動いているウイルスを駆除する）
 - ==> シマンテックエンドポイントの利用の義務化
4. パソコンのセキュリティ更新の重要性
 - <== 標的型メールは、ゼロディ攻撃することが多いが、それでも既知の脆弱性を持っていると、ウイルスに感染しやすい
 - ==> セキュリティ対応ができていないパソコンの排除

標的型メールの経験から教訓とすべきこと

- 患者情報をノートパソコンに保存していた。
 - ⇒ 医学部のルールが守られていなかった
 - ⇒ 重要な情報の保存場所・保存方法が提供できていない
 - ⇒ 個人のパソコンに随時立ち入って調査する権限が必要
- 暗号化された添付ファイル、lzh 圧縮された添付ファイルは、ウイルスチェックを素通りすることがある
 - ⇒ **ウイルスチェックができなかったメールの受取拒否**

標的型メールの経験から教訓とすべきこと

- 情報センターで日常的なセキュリティ管理ができていない
 - ⇒ スキルを持つマンパワーの不足
 - ・ シマンテックサーバのログの日常的なチェック
 - ・ 各種のサーバやファイアウォールのログのチェック
 - ・ ファイアウォール(fortigate)のUTM(統合脅威管理)機能の活用(設定の調整)と強化(オプションの購入)
- LANのセキュリティを確保するツールが必要
 - ・ ネットワークを流れる通信を監視し、振る舞い検知をし、怪しげな通信を遮断する装置
 - ・ LANに接続されたパソコンの情報を監視し、ウイルスに感染したパソコン、セキュリティ対応ができていないパソコン、無許可のパソコンを排除する装置
 - ・ **重要な情報を安全に保存する仕組み**
 - ・ **学内の業務と学外へのアクセスを分ける仮想環境**



シマンテックエンドポイントプロテクションの機能

<Windows>

- (1) ファイルベースの保護 (従来のウイルス対策)
- (2) ネットワークベースの保護 (IPS)
- (3) ビヘイビアベースの保護
- (4) レピュテーションベースの保護 (インサイト)

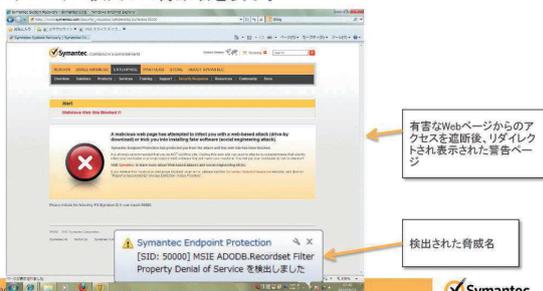
<MacOS>

- (1) ファイルベースの保護 (従来のウイルス対策)
- (2) ネットワークベースの保護 (IPS)

悪意のあるWebページアクセスした場合

Webブラウザ侵入防止

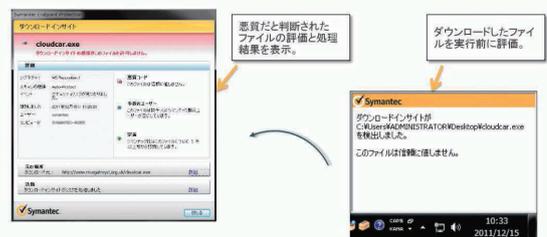
- ・ 攻撃者による悪意のあるWebページアクセスした場合、**Webページへのアクセスを遮断**。シマンテックによる**警告Webページを表示**。
- ・ タスクトレイに検出した脅威名を表示。



ダウンロードインサイトで悪質なファイルを検出した場合

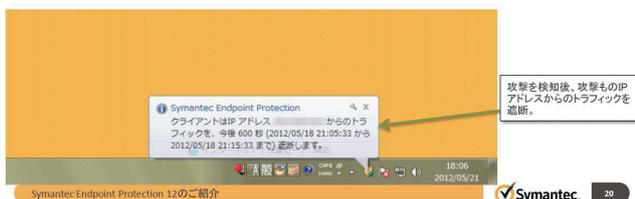
ダウンロードインサイト/ダウンロード保護

- ・ シマンテックで収集した**評価情報を元**に、ダウンロードした悪質なファイルを検出。
- ・ 実行前に悪質なファイル処理。



ネットワーク経由で悪意のある攻撃を検出した場合 ネットワーク侵入防止

- ・ ネットワーク経由の攻撃を検知し、攻撃を遮断。
- ・ デフォルトの設定で、**攻撃元のIPアドレスからトラフィックを600秒遮断**。



使われたことがない実行ファイルが起動するときの注意喚起



お願いしたいこと

- **多層防御** ができるワクチンソフトへの変更
- 怪しげなメールや添付ファイルを見極める眼（感覚）を養う
- よそから来たメールを、安易にメーリングリストに転送しない
- 個人情報の保存方法の見直し（講座単位で）
- トップの経営判断

平成 26 年度委員会・会議

平成 26 年

5月22日	大学 ICT 推進協議会 2014 年度通常総会
6月23日	第 1 回学術情報拠点運営会議
6月26・27日	第 11 回国立大学法人情報系センター協議会総会（新潟大学）
9月25・26日	第9回国立大学法人情報系センター研究集会、第18回学術情報処理研究集会（信州大学）
10月8日	第 2 回学術情報拠点運営会議
11月4・5日	インターネットコンファレンス 2014
11月20日	第 3 回(メール) 学術情報拠点運営会議
11月25日	第 4 回学術情報拠点運営会議
11月28・29日	平成 26 年度 IS 研九州ブロック研究会
12月4・5日	第 7 回インターネットと運用技術シンポジウム（IOTS2014）（立命館大学）
12月10～12日	大学 ICT 推進協議会 2014 年度年次大会
12月18日	第 5 回(メール) 学術情報拠点運営会議

平成 27 年

1月26日	第 6 回学術情報拠点運営会議
3月13日	国立大学法人情報系センター協議会第 2 回幹事会出席（岐阜大学）
3月23日	第 7 回学術情報拠点運営会議

平成 26 年度業務記録（情報基盤センター業務）

平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

- [4 月] 大学院への学内進学者のメール転送開始
プリンタの消費ポイント改訂
OpenSSL 脆弱性対応（物品請求システム）
ホスティングサービスサーバ(web-s)メモリ、CPU 増設
- [5 月] 退職者・卒業者 ID 停止
- [6 月] 昨年度退職者・卒業者 ID 削除
- [7 月] jQuery 修正モジュール適用(DEEPMail)
ガスエアコン更新
- [8 月] 附属地区通信回線高速化，冗長化(1Gbps×2)
- [9 月] 技術職員研修
利用者 ID の整理（不要な ID を削除）
WebClass バージョンアップ(9.10b)
Gnu bash の脆弱性対応（サーバ）
- [11 月] SSLv3.0 脆弱性対応(DEEPMail)
- [12 月] 広報発行
授業支援ボックスと WebClass 連携
- [1 月] 平成 27 年度情報教育システム（パソコン実習室）の予約開始
- [2 月] 教育情報システム入れ替え，オンデマンドプリンタシステム導入，
Glibc の脆弱性(GHOST)対応(WebClass)
Apache アップデート(DEEP メールサーバ)
- [3 月] Firewall 更新
パンフレット発行
WingNet 講習会
WebClass アップデート(Ver10.00c)
ガスエアコン更新

◆各種申請書受付件数

(1) 「プリンタ利用申請書」 (様式第 1 号)	71
(2) 「固定 IP アドレス申請書」 (様式第 2 号)	251
(3) 「実習室利用申請書」 ※Web フォーム	61
(4) 「WebClass コース作成申請書」 ※Web フォーム	239
(5) 「ワクチンソフト利用申請書」 ※Web フォーム	109
(6) 「ホスティングサービス利用申請書」 (様式第 3 号)	5
(7) 「ファイアウォール開放設定申請書」 (様式第 4 号)	28
(8) 「サブドメイン名申請書」 (様式第 5 号)	2
(9) 「サブネットワーク申請書」 (様式第 6 号)	1
(10) 「無線 LAN アクセスポイント設置申請書」 (様式第 7 号)	18
(11) 「一時インストール申請書」 (様式第 8 号)	1
(12) 「メーリングリスト申請書」 (様式第 9 号)	12
(13) 「共通スケジュール作成申請書」 ※Web フォーム	18
(14) 「利用者 ID の利用停止申請書」 ※Web フォーム	443

◆ゲスト ID (短期利用者 ID) 発行申請

310 件

平成26年度業務記録（医学情報センター業務）

平成26年4月～平成27年3月

- [4 月] 医学科・看護学科・大学院生・研修医オリエンテーション実施
教育情報システム更新にかかる導入説明会
- [5 月] 大学ICT大学推進協議会 CIO部会出席
- [6 月] 教育情報システム仕様書案説明会
PC・USBデータの取り扱いに関する講習会
- [7 月] 教育情報システム仕様策定委員会
- [8 月] 基盤情報システム学生端末セキュリティメンテナンス作業(267台)
- [9 月] 臨床大講義棟ノートPC撤去 (100台)
- [10月] 編入生オリエンテーション実施
自己学習室・標本学習室使用方法評価会議
看護学科講習会
情報処理実習室メンテナンスとパケット制限設定実機テスト
- [11月] CBT試験環境構築 (集中動作テスト)
- [12月] 大学ICT推進協議会2014年度年次大会出席 (仙台)
- [1 月] 個人情報保護研修
自己学習室・標本学習室使用方法評価会議
CBT試験環境構築2回 (体験テスト、本試験)
看護学科講習会
PCとUSBメモリーの利用方法講習会(2年生)
OKIスキャナ機能検証
- [2 月] CBT試験環境構築(追試験)
- [3 月] CBT試験環境構築(追試験)
院生室・看護学科実習室PC撤去(16台)

◆病院再整備関係

- * 病棟全体病院再整備LAN構築支援
- * 既設通信機器の仮撤去
- * 通信機器仮移設の作業

◆図書館耐震工事関係

- * LAN構築支援・既設通信機器の仮撤去
- * 光ファイバーの仮移設について検討したが結局、光ファイバーを養生した状態で工事に入った

◆LL教室無線システム不具合に対する技術的支援

◆学生端末システム更新[3月]

- * パソコン 267台
- * プリンタ 9台
- * プリント管理システムをPaperCutに入替
- * 学生用印刷ポイントシステムの変更

平成26年度 トラブル対応等件数

対応内容	内訳	件数
ウイルス駆除サポート		4
システム機器修理依頼件	PC	11
	スキャナ	4
	プリンタ	8
	HUB	4
	キーボード	2
ネットワークトラブル改善対応件数	幹線通信機器トラブル	2
	UPS	1
	無線認証トラブル	4
	meruAP	5
office のダウンロード版		3
proself		1
ウイルスソフト		15
webclass		1
個人 PC		26
deepmail		2
プロキシサーバ(11)		2
個人プリンタ		3
ファイルサーバに接続出来ない		1
ファイルサーバ		1
その他ネットワーク接続支援		15

平成26年度 ユーザ登録件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	135	16	11	17	9	13	20	9	12	11	12	41	306
変更	18	9	2	8	3	6	5	5	7	5	6	4	78
廃止	16	1	5	3	1	8	4	2	2	4	5	2	53
計	169	26	18	28	13	27	29	16	21	20	23	47	437

平成26年度 端末申請件数

新規	310
変更	79
廃止	54

平成26年度 ワクチンソフト申請件数

450件

大分大学学術情報拠点(情報基盤センター・医学情報センター)基盤情報・情報教育システムQ/Aトラブル管理表(業者対応)

発生日	区分	キャンパス	トラブル/質問/要望内容	システム区分	対応	完了日
2014/4/4	要望	全	2014年度の新入生のプリンタ上限値の設定と巨野原キャンパスの在学生のプリンタ上限値の設定の実施	プリンタ	4/4に登録済み。卒業生のユーザ削除については、LDAPと連携しているため、LDAP側で削除後30分以内には実施される。	2014/4/4
2014/4/4	Q/A	全	prosefifで下記のようなエラーが発生しているようなので調査してください。 「処理中にエラーが発生したためメールの送信に失敗した可能性があります。」	prosefif	メール内に添付したファイル名が文字化けしているためにファイルをProsefifにアップロードすることができず今回の事象が発生していた。根本的対策については、検討中。 次期レベルアップにて改善予定。 9/4に適用作業実施。	2014/9/4
2014/4/7	トラブル	換間	sinet プロキシを使用するとブラウザが使用できない。	proxy	squidの再起動後、.squidのファイルデスクリプタの変更、OSのファイルデスクリプタの変更を実施。それぞれデフォルト値(1024)から2048に変更。	2014/4/8
2014/4/8	Q/A	全	NetAPPへのログインID/パスワードについて教えて欲しい。	netapp	sshにてログイン可能なパスワードについて連絡。	2014/4/8
2014/4/11	要望	全	4/8に公開されたOpenSSLの脆弱性対応を実施して欲しい。	サーバ	4/8に公開されたOpenSSLの脆弱性については、導入システムに対しては影響はない。緊急的な修正の対応については、随時実施を行う予定である。	2014/4/11
2014/4/16	Q/A	全	4/8に公開されたOpenSSLの脆弱性関連で、Linux系のシステムでないVLC NetAcademyやIPCOMは問題ないか調査して欲しい。	サーバ	両システムとも今回の脆弱性については問題ない。	2014/4/16
2014/4/17	トラブル	巨野原	本日午前9時ごろから、情報基盤センターの実習室(システムA・B)の端末が起動できなくなった。ログを強制解除して復旧したが原因を調査して欲しい。	PC	1. 不具合の確認 全サーバのCitrixPvsのStream.logを確認したところ、CCADMIN02サーバでのみ、 <VdiskHasExclusiveLock>エラーが9:00~9:20まで確認できた。 2. 原因 VdiskHasExclusiveLock(ロック状態)となった理由は不明。 通常 ロック状態は 更新モードの際のトラブル防止のために働く機能だが、今回は運用モード時に、ロック状態になっている通常では、考えられない状況となっていた。 3. ロック状態 ロック状態になった理由は、不明だが、次のようなことが考えられる。 1) Netkaleidoが、誤動作した。 2) 何らかの理由により、イメージが書き込み可能な状態と判断されたためNetkaleidoが正常に動作し、ロックを行った。 3) だが、操作を行った。(ログからは、操作履歴は確認できない) 4. バックアップ機能(冗長化機能)が動作しなかった原因 導入しているNetkaleidoには、冗長化が設定されている。Netkaleidoが更新モードであれば、CCADMIN02サーバを除外し、冗長化機能が動作するが、今回は運用モードでサービスが正常動作していたためにNetkaleidoがCCADMIN02サーバでの不具合発生を検知できず、冗長化機能が動作していないと考えられる。 5. 負荷分散機能の動作について 導入のシステムには、負荷分散機能を設定している。今回は、サーバ的にCCADMIN02サーバが正常に見えており、しかも、イメージがロックされ端末にイメージ配信を行っていかかったため、NetkaleidoがCCADMIN02サーバの負荷が軽いと判断し、9時以降に電源ONされた端末をCCADMIN02サーバに導き、多くの端末で起動出来ない状況になったと考えられる。 できるだけ簡単に復旧する手順については、現在の対応方法以上のものは存在しない。システム切替までその時間もないため、次回導入時に関係者に対し、手順の説明を実施する。	2014/4/23
2014/4/21	要望	全	web-s1, web-s2のCPU、メモリーを大きくして欲しい。	サーバ	web-s1,web-s2のCPU及びメモリーを現在の2CPU、8GBからCPU、16GBへ変更を実施した。作業中(サーバがすぐに切り替わらなかったのは、クライアント側のキャッシュの影響と思われる)。	2014/4/24
2014/4/24	トラブル	巨野原	センターのPCが複数台終了時にシャットダウン処理中のまま停止して正常に電源切断されないことがある。	PC	調査中。 6/17にシャットダウンしない場合のcitrixの対応モジュールを適用。 7/4にDHCPサービスの設定変更を実施。 その後頻度は減ったがまだ発生しているようなので、再度調査中。 現在のクライアントモジュールで対応可能なものは後1つである。適用は可能であるが、現在適用済みのものを入れ替えるものとなり、逆に頻度が増加する可能性もある。投案開始後、頻度が多ければ適用を検討する。	確認中
2014/4/28	トラブル	換間	瞬時に遠隔起動を行った際に数台のPCのwindowsOSが起動しない。「windowsを起動しています…」で止まってしまう正常起動しない。	PC	5/8に調査を行った際は、1台のPCを除いて現象を確認することはできなかった。PC1台については、メインボード不良と思われるため、ハード交換を依頼。 現象が発生した場合は、メモリダンプの取得が必要のため、マスタにメモリダンプを取得可能なように設定を実施する予定。 WindowsUpdateが適用された後は、現象が再現されなくなった。	2014/6/24
2014/4/30	トラブル	巨野原	経済学部プリンタにおいて次のような現象が何度か発生している。 印刷完了(確かに印刷できていた)の後に、管理画面で、そのジョブが「プリント中」と表示されたまま消えず、次のジョブが印刷できないため、電源を切った。その後は、正常印刷できています。 プリントサーバのジョブ履歴では、「プリント完了」「異常終了」の表示。 プリントした本人のジョブ履歴を確認すると、「完了(警告あり)」で、プリント枚数「空白」になっている。ポイント加算されていないように見える。	プリンタ	ログを取得し、調査中。 プリンタの基盤のファームウェアアップを実施。	2014/5/29
2014/5/1	要望	全	「第29回九州アカラディング・フォーラムのご案内」のメールがSpamと誤検知されたようなので対応して欲しい。	メール	本文中のURL若しくはドメインによりSPAM判定されていた。クラウドマーク社へ解除の依頼を実施済み。	2014/5/2
2014/5/2	トラブル	図書館	Windows Updateを更新した際に、途中でエラーが発生したパソコンがあったので対応して欲しい。 エラーコード:C0000034	PC	OSがおかしくなっていると思われるので、念のためハードディスクを交換後、復元作業を実施予定。5/20対応済み	2014/5/20
2014/5/10	トラブル	換間	sinet1の squid が止まって、SSHでの接続もできない。 巨野原担当教員宛に連絡があったが、換間分は換間担当教員宛にできないか。 DISKが故障しただけで、サーバが停止してしまっただけなのか。	サーバ	サーバのディスク障害。電源off/on後、ディスクの交換を実施。	2014/5/12
2014/5/14	Q/A	換間	プライムハブに接続されたネットワークで、ループが発生したが、5分後に自動的にポートが解放され、上位ポートまで影響が結局アラクサラのポートでループの影響を停止することができた。原因を調査して欲しい。	ハブ	ループ検出時の動作がデフォルト値となっているため、現在の状況となっていると思われる。(5分後に自動的にポートが解放され、2分後に再度ループを検出するような設定となっている) ループ検出時にblock時間(経過後自動開放)を長くしたり、検出間隔を短くして自動開放されてもすぐに検出できるように設定する必要がある。 ループ検出時にポートを解放しない設定を組み込み、ループ時のsnmpでのメール送信については、確認済み	2014/8/19
2014/5/16	Q/A	全	Newtechのファイルサーバでエラーの情報をメール通知できないか。 また、fsockを実行する際、fsock /Vのように自動で回答することはできないか。	バックアップ ファイル サーバ	エラー情報メール通知することはできない。 fsockの実行時は、fsock -yにて当該操作が可能。	2014/5/27
2014/5/17	トラブル	換間	サーバ室のネットワーク機器やサーバと通信できなくなっている。	UPS	基幹系のネットワーク機器(ハブ等)が接続されているUPSが、ハード障害によりダウンしていたため、5/17は正常なUPSへPDUごとを差し替えて正常動作。5/19にUPS設置ハード障害対応後、ネットワーク機器の接続されていないPDUの差し替えを実施。	2014/5/19
2014/5/22	トラブル	図書館	Windowsが下記のエラーで起動しなくなったので、対応して欲しい。 エラーコード:C0000034	PC	ハードディスクを交換後、6/3に復元作業を実施。	2014/6/3
2014/5/27	トラブル	換間	無線LANへの接続が不安定となることある。	無線LAN	2.4GHz帯のチャンネル競合の可能性もあるため、5GHz帯専用のSSIDを新設して様子見(6/6~)。不具合報告の多いスイッチ付近でパケットキャプチャを実施し、状況を確認する。(6/16~20) 7/24にも発生したため再調査中。 一定量以上のマルチキャストフレームが流れ込むと、帯域不足により通信不能になっていたと考えられる。	2014/9/1
2014/5/30	Q/A	換間	換間のLANには、ブロードキャストのバケットが異常にたくさん流れていると思われるが、これは正常か?	ネットワーク	比較的多いブロードキャストの多い研究棟1Fの状況を調査したが、ARPの情報が多い一方でその他は、特に問題なさそうであった。これは、マルチステップ認証を実施していることが原因と思われる。教室については、別途調査を実施する予定。ARP情報が多いのはApple社の通信の可能性が高いと思われるが、確認する方法はあるか。VLANごとにコリジョンがあったか確認することはできないかという件についても確認中。 情報処理実習室にて、icmp snoopingを有効にして、不要なマルチキャストパケットを流さないようにすることができるとか確認予定。作業実施時にアラクサラの再起動等で一時的にネットワークが使用できなくなるため、時間調整要 情報処理実習室アラクサラについては、設定済み(10/6)。他のアラクサラについても設定済み。(12/5)	調整中
2014/6/2	トラブル	全	133.37.254.133 で動いているTrendMicroのServerProtectが、5月31日15:00(JST)以降、パターンファイルの更新に失敗している。	サーバ	ディスク容量不足が原因であった。システム構築時に使用したと思われるログファイル等を削除して空き容量を確保。	2014/6/2
2014/6/10	要望	全	以下のURLをweb-s1固定の設定に追加して欲しい。 www.ees.ocita-u.ac.jp	IPCOM	6/10に設定追加。	2014/6/10
2014/6/10	トラブル	換間	SEPが5/25以降自動アップデートしなくなりました。 手動liveupdateは可能です。	ウィルス対策	再起動後、正常動作。ログを取得し、シマンテックへ調査依頼を行ったが、ログの割当て容量が少ないため、現象発生時のログが取得できないことが判明。ログの容量を大きくする作業を実施するとともに、現象発生時にSQL Serverのメモリ不足のエラーが発生していたため、サーバのメモリ容量を増強する作業を実施したい。7/1に実施。7/4,9に再度発生のためログを取得し、調査中。サーバOSにログインすると現象が改善することから、合わせて確認中。 7/17にCPUのコア数の増設(1→2)を実施。SQL Serverのメモリの上限値の設定を実施予定。 SQL Serverのメモリ上限値の設定後は、正常動作中。	2014/7/24
2014/6/12	トラブル	換間	DHCPサーバ(sprotect)の過去ログが 2013/10/22 以降保存されていないようだ。	サーバ	サーバのadministratorのパスワードを変更した際にadministratorユーザで実行されていたタスクのパスワードを変更してなかったことが原因。タスク上のAdministratorのパスワードを変更して正常動作を確認。	2014/6/13
2014/6/13	トラブル	図書館	図書館の業務PCでディスクのエラーが発生。至急対応して欲しい。	PC	6/16にディスク交換後、OSインストール、officeのインストールを実施。業務システムのセットアップについては、リコーにて実施。 6/26にブルー画面で停止したため、ディスプレイドライバのアップデートを実施。	2014/7/2

発生日	区分	キャンパス	トラブル/質問/要望内容	シズメ区分	対応	完了日
2014/6/17	トラブル	狭間	情報処理実習室の76と115が電源が入らなかつたり、OSが起動しなかつたりする。	PC	WJ1-76は、マザーボードとディスクの不具合、WJ1-115はディスクの不具合。ハード交換後、瞬時に復旧。	2014/6/20
2014/6/27	Q/A	全	DeepMailのログのバックアップ領域が100%となっているようである。	サーバ	バックアップ時のみマウントしているため、監視の際にはひかかっていなかったようである。設定を変更し、このような領域も監視対象となるようにする。	2014/6/30
2014/6/28	Q/A	狭間	DHCPサーバの設定が、何かおかしい。DHCPのログ上にDNSの更新に失敗しましたと頻りに記録されているが、サーバ側の問題はないか。	サーバ	DHCPサーバの設定は、当初の設定に誤りがあった。DNSの更新のエラーについては、デフォルトの設定では、DHCPサーバは動的更新を行わないので、クライアント側の設定で出力されていると思われる。	2014/7/24
2014/7/1	Q/A	狭間	学外のLAN環境でSEPipeupdateが失敗する。	ウイルス対策	Windows PCでもMACクライアントでも学外からの利用の場合は、endpointのクライアント側の設定でプロセスを手動で設定する必要がある。	2014/11/26
2014/7/3	要望	全	yabakeiで、yum コマンドが使えない。	サーバ	本年度分のRHELのプロダクトIDを登録(yabakei以外のサーバも実施)。	2014/7/3
2014/7/4	Q/A	全	メールクライアントからのメッセージの受信に失敗しました。というエラーがproselfから届いた。調査して欲しい。	proself	こちらは送信元のメールサーバから接続はあったものの、メール自体が送信されてこなかった際に送信されるものである。こういったケースでは送信元のメールサーバが再送処理を行うため対応は不要な場合がほとんどである。メッセージについては、9/4のproself最新版へのアップデートで修正済み。	2014/7/11
2014/7/10	トラブル	目野原	Windows Updateで2962872を適用するとディープメールの送信時に添付ファイルを添付後の参照時にハングしてしまふ。	メール	左記アップデートを適用することにより他のプログラムでもハングする事例が発生しており、当面はマイクロソフトからの修正を待つことになる。該当機能を利用する場合は、先アップデートを削除した上で、Firefox等別ブラウザの使用を検討いただきたい。8月のWindowsUpdateにてマイクロソフトより修正版が提供されたようなので確認して欲しい。	2014/8/26
2014/7/10	トラブル	目野原	6/19以降にLDAPに登録された新規ユーザが、プリント管理システム側で表示されない。	プリンタ	認証システムとプリント管理システムのユーザ同期に不具合が発生していたため、サーバを再起動後、連携処理を実施。連携スケジュールの不具合であったため、修正パッチの適用作業を7/31に実施。	2014/7/31
2014/7/14	トラブル	狭間	狭間キャンパスの瞬快サーバからリカバードエラー(HDD読み書き時エラー)が発生したため、ディスク交換を実施。	サーバ	狭間キャンパスの瞬快サーバからリカバードエラー(HDD読み書き時エラー)が発生したため、ディスク交換を実施。	2014/7/15
2014/7/14	トラブル	全	DX800の中のディスクが1台、壊れている。	サーバ	調査の結果2台壊れていることがわかり、14日に1台交換後、15日にもう1台を交換。EternusのCM0側のみ設定済み。CM1側はアラクスにIPアドレス設定後にケーブルを接続するも通信は可能。12/9、CM1側設定作業を実施。⇒接続OK確認。	2014/7/15
2014/7/29	要望	全	メール一斉送信の際に、無効のアドレスなどが含まれると、「その他の理由により送信できません」というメッセージがでて送信できませんが、どのメールアドレスも送信できなかったのか、特定できないという問い合わせきた。例えば、学内の存在しないメールアドレスが含まれていた場合はUserUnknownと表示され、どのアドレスも特定できるが、メールアドレスとしてではない形式だったりすると、「その他の理由により送信できません」となっており、どのメールアドレスも特定できない。他のメールアドレスでも、特定できるようなが、DEEPMailでもできるようにならないか？	メール	ご要望に応えるよう関連処理の改修を実施する。但し、改修スケジュールの提供時期は、8月末頃の提供を目処に準備を進めたい。9/11に修正の適用作業を実施。また、deepmailのアカウント管理コマンドaccountmgmを利用した際に、出力結果が正確でない場合があるという修正(利用者には影響ありません)も合わせて実施。	2014/9/11
2014/7/31	要望	全	以下のURLをIPCOMのweb-s1固定の設定に追加してほしい。 www.hc.ota-u.ac.jp	IPCOM	左記設定を実施した。	2014/7/31
2014/8/1	トラブル	全	MailSuiteのウイルスパターンファイルの更新が、今日の1:30以降failしています。(1:20までは、正常にUpdateしていました)この時刻には、ファイアウォールを変更していません。調査をよろしくお願ひいたします。	メール	Sophosとの調査の結果、SophosエンジンのLibraryのUpdateに失敗していることによりパターンファイルのUpdateエラーが発生していることが判明しました。修正スケジュールの準備には一両日を要する見込みのため、土曜日もしくは日曜日に適用作業となる。	2014/8/4
2014/8/4	その他	全	VMwareの保守契約の更新依頼が届いているので更新手続きをお願いします。	VMWare	既に契約は更新されており、平成29年2月28日までが有効期間となっております。	2014/8/25
2014/8/14	トラブル	全	昨日の作業停電の回復後、ネットワークの一部が回復しなかつた。調べたところ、AX2400のstartup configを探すが、SDカードになっているようで、bootできず、すべての設定がなくなった状態になった。情報基盤センター内のSWと、教育福祉のスイッチは、SDカードを抜いて、rebootすることで、回復した。経済学部と教養教育は、難なく現場に行けないので、そのAX2400は、設定がなくなった状態のまま、ネットワークが切れたままとなっている。AX2400のboot先(startup configを探すがアレクサ)を、SDカードから本体内部メモリに変更してほしい。	アラクス	AlaxalAのSDカードから起動した件ですが、SDカード内のブートイメージを装置本体が認識し起動したと思われる。AlaxalAのboot先を変更する設定はないため、AlaxalAから抜いた、SDカードは、そのままの状態にておいて欲しい。	2014/8/18
2014/8/14	トラブル	目野原	目野原のprint spool serverが、2台とも、サービスが回復せず、エラーメールを、送り続けた。(2台とも、自動では、復旧しなかつた。) print01は、rebootにより、回復したのだが、print02は、数回rebootしたが、回復せず、手動でのサービス再起動でも、回復しなかつたため、サーバ自身をshutdownした。	プリンタ	サービスが起動しない場合に自動的に再起動する間隔を5分に設定していたが、5分の間にサービスが起動しない状態となり、何度も再起動を繰り返していた。サービスを再起動する間隔を10分に変更して正常動作を確認。	2014/8/18
2014/8/18	トラブル	狭間	医学部からのネットワーク接続(インターネット、メール等)が遅い。Proxyを11に変更すると問題なく接続される。	サーバ	sninetのsquidサービスを再起動することにより正常動作を確認。原因については、調査中。Proxyのsquidの接続数が多く、ファイルデスクリプタという値の上限に近づいていた。プロセス11系で同様の原因であったため、ファイルデスクリプタの上限を、2048に変更後、再起動を実施(12/2)。	2014/8/18
2014/8/19	トラブル	図書館	図書館の業務用PCでシャットダウン時にログオフしていますの状態が停止し、シャットダウンしない。	PC	普段利用しているユーザ以外でログイン後、正常にシャットダウンすることを確認。その後正常にシャットダウンできなかったユーザでもシャットダウンできるようになった。急のためディスクのクリーンアップを実施。	2014/8/19
2014/8/20	トラブル	狭間	医学部のバックアップ領域の一部が満杯になっているので対応して欲しい。また、このアラートメッセージが送信されてこない。	バックアップサーバ	左記の領域は、ファイル削除への対策が行えないためバックアップファイルサーバのbk.user、bk.systemを増やせない確認したあと対応を実施する。領域の拡張は実施済み。また指摘された領域のチェックは、現在行っているもので、チェックを行うよう、仕組みを組み込む。10/31に組み込み済み。	2014/10/31
2014/8/20	トラブル	狭間	瞬電後、情報処理実習室等のPCで電源関係のトラブルが多数発生しているため、対応して欲しい。	PC	PCが起動しない分については、ディスク交換後、OSの復元作業を実施。	2014/8/26
2014/8/20	トラブル	図書館	利用者用PC2台が、すべてのドライブの総バックアップファイルサイズが1000MB以下になり個人でログインするとパフォーマンスの画面がでくくる。仮想メモリの容量を上げて画面に出ないようにしてほしい。	PC	個人のユーザプロファイルがログオフ時に削除されず、ディスク容量不足となっていると思われる。確認後対応実施予定。8/26でディスク交換済み、9/1で対応。個人ユーザプロファイルの削除の恒久的対応は、早急に実施予定。Microsoftの問題で、プロファイルのtempファイルが削除されない場合があり、この現象が発生すると現在は、以降のプロファイルは全て削除できる。	2014/10/6
2014/8/22	トラブル	狭間	瞬電後、学生福利施設でネットワークが使用できなくなった。	無線LAN	目野原キャンパスは、9/26に対応済み。狭間キャンパスについては、10/6に対応済み。ビル間通信機器が故障したため、課外活動共用施設の機器を学生福利施設に移動して対応。故障機器の修理対応方法について調整中。11/14に修理機器を設置。	2014/11/14
2014/8/29	トラブル	狭間	学生ホールのWRK-02が、Windows起動中で停止する。	PC	ディスク交換後、再配信処理を実施。	2014/9/3
2014/9/4	Q/A	狭間	SEPデアループドにインストールする場合についての対応は、12.1.4.14になっても11の頃と同じ対応になるのか。	ウイルス対策	表向きは変更ないようであるが、デュアルブートのOSがそれぞれ対応OSであれば、通常通りのQ&A対応は可能とのこと。	2014/9/5
2014/9/8	トラブル	狭間	瞬快には2台のWindowsUpdate連携で、多数の失敗と表示されている。エラーが多くなった8月末以降、エラーの6割程度は、WindowsUpdateが成功している(詳細ログにより確認)にも関わらずエラーと表示されている。こちらに関しては、瞬快のサポートで調査中。また、電源が入っているが、何も表示されないPCが複数台確認されているので、こちらについては、PC側で調査中。サーバクライアント間でタイムアウト値が短すぎるため、修正パッチを適用してタイムアウト値を大きくする作業を実施。前回の連携開始の命令に対する返答とは別にパッチ適用開始及び処理中に行われる通知が、サーバにて認識することができていなかったため、こちらの設定値もデフォルトの5.2秒から30秒へ変更。また1週間1台ほど同様の現象が発生するため、再調査。原因は、サーバにて、クライアントからサーバに対するパケットを受信できなかったことによるタイムアウトのエラーであった。ただし、今回の場合、パケットを受信できなかった原因は、到達が失敗したのではなく、到達したパケットが正しい形式の内容ではなかったためであった。(サーバでは、クライアントから、正しい形式の内容であるパケットを受信することができなかったため、パケットが到達していないと判断に至った。)パケットの形式に異常が発生した原因については、不明であるが、サーバ、もしくはクライアントにてOS形式での負荷が生じたことにより、パケットが破損した可能性があるのではないかと考えられる。	PC	電源ボタンの長押しによるシステムダウンは、電源管理機能を持つ富士通オリジナルマイコン(以下、電源マイコン)の非常時機能で、Windowsとは無関係にPC動作の電源をカットする。通常、WOLが使える状態は、BIOS/Windowsの「正常シャットダウンをチェック」して、LAN経由のWake信号待ちの状態になっている。これに対して、電源マイコンによる強制断をした場合、BIOS/Windowsがシャットダウンした状態を把握できず、結果、WOL不可の状態となる。電源ボタンに「シャットダウン」動作を割り当てると、終了時に電源ボタンを1回押すだけでシャットダウンすることもできるが、電源ボタンの長押しには対応していない。間、電源ボタンの割り当て機能は、電源オプションから変更が可能。	2015/1/27
2014/9/11	Q/A	狭間	AN2530-18でループが発生したが、停止しているポートを解除しようとしているが、解除されない。	アラクス	loop解除後、activate giga「ポート番号」のコマンド実行で正常動作を確認。	2014/9/11
2014/9/16	トラブル	狭間	狭間キャンパスのサーバーが2台ともスプールサービスの再起動を繰り返し、印刷処理が実行できない。	プリント管理	スプールサービスの自動再起動の実行間隔を現在の5分から15分に変更して正常動作を確認。発生原因については、ウイルス対策ソフトのプロアクティブ脅威防止機能が動作し、再起動後、実行間隔が5分以上経過しても再起動が終了しなかつたため。	2014/9/16
2014/9/17	トラブル	狭間	WTU2-05のFANから異常音がする。	PC	FANの交換を実施。	2014/9/18
2014/9/26	要望	全	GNU bashに脆弱性が見つかったようですが、何か対策が必要な箇所があるか。	サーバ	該当サーバ(mailgw, octdns, gwsw, w1, w2)のbashのバージョンアップをyumで行いたいので、まずは、w2の時間調整をお願いしたい。外部公開サーバについては、9/30に対応完了。表向きの内部サーバについても10/31に対応完了。	2014/10/31
2014/10/2	トラブル	全	aaa.net.ota-u.ac.jp が、mountしているNFSサーバがダウンしているようで、df コマンドを実行するとハングアップし、bashのアップデートが実行できない。	サーバ	以前に接続していた物理サーバ(ファイルサーバ)が存在しないために、発生している現象。コマンドにてサーバのアムウントを実施。	2014/10/2

発生日	区分	キャンパス	トラブル/質問/要望内容	シズメ区分	対応	完了日
2014/10/7	トラブル	換間	オンライン教材のサーバに http でアクセスすると403 Forbidden となる時がある。何度の再読み込みを繰り返しても表示されず、エラーが表示されている時ほどのパソコンからも同じことが起きる。エラーを解消する方法はないか。	サーバ	調査中。その後再現なし。	調査中
2014/10/15	トラブル	換間	インテリジェントHUB(GS908M V2)FAULT赤ランプになる(電源再起動しても変化なし)無線用HUB	HUB	引き取り後、アラйдに調査依頼を行う。修理または、交換を依頼する。Bハブへの変更で了承済み。	2015/2/10
2014/10/16	要望	全	SSLv3に弱い弱性が見つかったとのこと。そのため、HTTPSを設定しているWebサーバでSSLv2, SSLv3を使わないように設定してほしい。TLSv1.0, TLSv1.1, TLSv1.2が使えるため、SSLv2, SSLv3は、もう必要ないと思う。	サーバ	web-mc.oita-u.ac.jp, lms.cc.oita-u.ac.jp (WebClass), els.cc.oita-u.ac.jp (Net Academy), fg.cc.oita-u.ac.jp(proself) 以上且野原, www.med.oita-u.ac.jp 換間キャンパスまで設定済み。gweb.med.oita-u.ac.jp, mm.med.oita-u.ac.jp, www2.med.oita-u.ac.jpについては、調整中。"web-m.oita-u.ac.jp, lms.cc.oita-u.ac.jp (WebClass), els.cc.oita-u.ac.jp (Net Academy), fg.cc.oita-u.ac.jp(proself) 以上且野原, www.med.oita-u.ac.jp 換間キャンパスまで設定済み。gweb.med.oita-u.ac.jp, mm.med.oita-u.ac.jp, www2.med.oita-u.ac.jpについては、調整中。Mn, www2は、11/4に実施。gwebは、11/14に実施済み。	2014/11/14
2014/10/21	トラブル	且野原	且野原キャンパスのCALL教室端末"llst114"が起動できない。電源を入ると、ピー音音が4、3、1、1回、画面は黒いままだなる。	PC	メインボード交換後、DHCP、Netkaleidoの設定変更を実施し、正常動作を確認。	2014/10/23
2014/10/21	トラブル	換間	WGR-01(ノートPC)で、手動"Windowsupdate後、瞬時の修復モードに変更すると、ログインしても真っ暗で何も操作できない。	PC	瞬時の復元タイプを一旦バージョン単位に変更し、問題なく表示されることを確認後、ファイル・フォルダ単位に戻しても正常に表示されることを確認。	2014/10/23
2014/10/21	トラブル	換間	スイッチングハブ(GS908XL)に不具合が発生した。現象:axalalaに接続するケーブルの現象が発生した。FULLランプは点かない	HUB	今年の1月に発生した情報処理実習室のHUBの不具合と同様の現象と思われる。引き取り後、アラйдに依頼して調査を依頼する。アラйдにて、現象確認できず。11/5良品交換。	調査中
2014/10/22	トラブル	図書館	電源をONしたら、画面に「入力信号がありません」と表示され、Windowsの起動画面が表示されない。	PC	LIMEDIOサポートセンターにて、ハードの不具合と判断。富士通のサポートセンターにハード修理を依頼。10/29訪問予定。メモリの抜き差しにより復旧。	2014/10/29
2014/11/4	トラブル	換間	自己学習室のPCで特定のキーが入力できない。FANから異音が出る。	PC	キーボード及びCFRANの交換を実施。	2014/11/5
2014/11/11	要望	全	SMTP(IMAP4/POP3 over ssl)を使用している場合、SSLv3.0が無効化されるように対応したモジュールへの入替が必要となる。CSR(Cross site request forgeries)の脆弱性対策も合わせて適用したい。	メール	適用後にキャッシュのクリア等の必要がないため、11/13の17:30より適用実施。特に問題なし。	2014/11/13
2014/11/13	トラブル	且野原	[経済学部 ecipr2]のプリンタにおいて「印刷中」のまま止まっている現象が発生している。	プリンタ	プリンタ側のネットワークカードが搭載されているロジックボード不良の問題の可能性が高いことを確認後、ロジックボード交換とファームウェアの最新版適用にて正常動作を確認。	2014/11/14
2014/11/14	要望	且野原	一太郎のアップデートモジュールを適用してほしい。	PC	11/28に学生用PCのウイルス対策ソフトのバージョンアップと同時に実施予定。	2014/12/5
2014/11/14	要望	換間	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU5を適用してほしい。	ウイルス対策	11/26にアップデート作業を実施予定。11/26に完了。	2014/11/26
2014/11/21	要望	換間	hsサーバで、PHP, Apache, MySQL, Perlの最新版へのバージョンアップを実施してほしい。	サーバ	httpd-2.2.3-91.el5, php-5.1.6-45.el5_11, perl-5.8.8-43.el5_11, mysql-5.0.95-5.el5_9とそれぞれ最新版にアップデート実施済み。	2014/11/21
2014/12/3,8	トラブル	図書館	且野原図書館パソコンエリアにあるパソコン1台がログインできず下記の表示が出る。User Profile Service サービスによるログインの処理に失敗しました。ユーザープロファイルを読み込めません。	PC	どのユーザーでもログインできず、他のPCからのアクセスもできないため、別のPCからのコピーにより復旧。次回同じPCで現象が再発した場合は、ディスク交換の上対応予定。	2014/12/11
2014/12/10	要望	全	bindのセキュリティパッチが出たとのこと。関係するサーバへの適用をしてほしい。	サーバ	octadnsサーバのアップデートは完了(12/15)。残りのサーバ(mailgw, dns, mail)については、12/22に完了。	2014/12/22
2014/12/16	トラブル	且野原	センター第1実習室の55番PCの起動に時間があがる。100mbでリンクしている。	アラクサラ	アラクサラのポートの問題と思われる。ポートを別ポートに変更することにより現象が再発せず。アラクサラのハード交換を1/15に実施。	2015/1/16
2014/12/26	トラブル	全	共通スケジュールの機能で以下のような現象が発生することがある。 ・登録したはずのスケジュールが画面に出ていない。 ・もう一度登録したのに、画面に出てこない。 ・あるスケジュールの日時を変更したが、変更後の日に表示されない。 ・スケジュール画面に表示されていないのでスケジュールを登録しようとしたが、「予約時間が重なっています」というメッセージが表示され、その後2重で表示された。	メール	表示用の画面で登録された一部情報を正常に読み込まず画面上で表示できない事を確認致しました。修正モジュールを準備し1/15に適用済み。	2015/1/15
2014/12/26	トラブル	換間	看護学科1F 事務室の無線集約用インテリジェントHUB(GS908M V2)FAULT赤ランプになり(電源再起動しても変化なし)、無線が利用できなくなった。	HUB	引き取り後、アラйдに調査依頼を行う。修理または、交換を依頼する。Bハブへの変更で了承済み。変更必要個所については、Bハブへ変更。	2015/2/13
2015/1/6	トラブル	換間	電源が正面ボタンで上がりにくい。その際LANケーブル差口のリンクランプが点かない。ファンもまわらない。	PC	現象は再現できなかったが、念のためメインボードと電源ユニットを交換。	2015/1/8
2015/1/14	トラブル	全	ブレードサーバ1番で電源がオンランプとなっており、起動していない。	サーバ	1番のブレードは、メインボード不良であったが、エラーは12/11より発生していた。リモート通報ができていなかった原因及び交換後も起動しなかったのは、マネージメントブレードがハングアップしていたことが原因と思われる。メイン側のマネージメントブレードを抜いて正常に動作することを確認済み。1番のブレードも交換後、正常に認識されることを確認済み。マネージメントブレードがハングアップした件は、マネージメントブレードの不具合であり、最新のファームで修正されているが、最新のファームへアップロードするには、個々のブレードサーバのBIOSにファームをアップロードする必要がある。個々のブレードサーバは、すべて同時に作業ができないため、作業時間を洗い出した後、数台ずつ実施予定。適用スケジュールについてとりまとめ中。 連絡先メールアドレスが間違っていた件については、3/11にMicenterへ修正済み。	2015/1/20
2015/1/15	トラブル	換間	情報処理実習室のPC4台でハングアップ等の事象が発生する。	PC	1台は、メインボード交換、残り3台については、ディスク交換を実施。ディスク交換分は瞬時にリカバリを実施。	2015/1/26
2015/1/16	トラブル	全	且野原キャンパスのETERNUS DX80のディスクの1本に不具合が発生。	サーバ	ディスク交換を実施。	2015/1/16
2015/1/19	依頼	換間	WWW2の証明書有効期限が近づいてきたので対応してほしい。	サーバ	CSR作成後、届いた証明書の登録作業を実施。	2015/1/20
2015/1/22	トラブル	図書館	ログインを行うとすると下記エラーで。User Profile Serviceサービスによるログインの処理に失敗しました。ユーザープロファイルを読み込めません。	PC	1/29 ディスクコピー後、正常動作確認。	2015/1/29
2015/2/13	Q/A	換間	OPManagerの有効日数が残り15日と表示される。	監視	契約変更のため時間がかかったが、27日にライセンスの登録を終了。2年分のライセンスを登録したため、システム更新までライセンス登録の必要はない。	2015/2/27
2015/2/16	トラブル	換間	換間のPRINT1サーバで「LPR サービスはダウン」とエラー通知が来た。	サーバ	サーバがWindowsUpdate途中で停止していたため。サーバを強制的に再起動させ、その後問題ないことを確認。	2015/2/16
2015/2/17	要望	且野原	且野原ファイルサーバの共有フォルダcsharesの権限を一般利用者は、read onlyとして欲しい。	サーバ	フォルダをread onlyとし、書き込みができなくなったことを確認済み。合わせて権限の設定方法について連絡。	2015/2/18
2015/3/2	トラブル	全	www2からAC異常のメールが届き、サポートよりサーバの動作状況について確認の電話があった。対応状況はどうなっているのか。	サーバ	確認中。	2015/3/2
2015/3/2	トラブル	全	登録権限に関して、メンバー管理より個別登録を行って、libserv@oita-u.ac.jpを追加したが、libservに登録権限が与えられていないようだ。	メール	登録権限の公開範囲で個別指定に登録されたユーザーには「閲覧・登録」の両権限が与えられますが、下記の閲覧権限設定の組み合わせでは「登録」権限が与えられず、今回の事象が発生することを確認した。 ・閲覧権限 「公開範囲:全体」 ・登録権限 「公開範囲:個別指定」 この件に関する改修モジュールを3/4に登録済み。	2015/3/4
2015/3/10	Q/A	換間	ある学生が、マイドキュメントを開こうとすると、エラーメッセージが出て、中のファイルが取り出せない、といっている。半年くらい前から、その現象が起きている、という。調べてほしい。ファイルサーバには、いくつかファイルが見えるので、何らかの原因で、アクセスができなくなっている状態なのではないか。sshではファイル名が文字化けするので、取り出すのが難しい。以前、作業中に突然、再起動が起きたことがあると言っている。突然、windows updateが動き出して、どこかの設定が中途半端な状態になっているのかもしれない。	ファイルサーバ	ファイルサーバへAdministratorでログイン後、該当ユーザーのマイドキュメントを正常に開くことができたので、フォルダごと別のフォルダにコピーした。ファイルサーバへのアクセスは、Windows上からAdministratorのユーザーID/パスワードでアクセス可能である。	2015/3/10

教室使用状況

センター1F・第1実習室（システムA） Windows8.1Pro パソコン 70+1台

平成26年度・前期

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 13:10～14:40	IV 14:50～16:20	V 16:30～18:00
月		工・院1年 運動機能工学特論 岡内		工・3年 プログラミング 水鳥	
火	工・1年 情報処理入門 本城		教・2年 データ分析と統計 大隈		教・1年 教育情報処理演習 谷野
水		工・1年 情報処理入門 本城	教・1年 教育情報処理演習 谷野	工・2年 建築CAD製図2 姫野	工・2年 建築CAD製図2 姫野
木	教・1年 情報処理演習I 山下	工・2年 機械数学II 石松	工・1年 身体運動機能学 岡内	教・2～4年 住居計画学 川田(5/29・6/5・6/12)	教2年 教育メディアとコンピュータ 市原
金	工・2年 機械設計製図II 岩本	工・2年 機械設計製図II 岩本	工・3年 コンピュータプログラミング 富来	工・3年 コンピュータプログラミング 富来	

平成26年度・後期

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 13:10～14:40	IV 14:50～16:20	V 16:30～18:00
月	工・3年 建築CAD製図I 重田	工・3年 建築CAD製図I 重田		工・3年 数値解析演習 小田	
火	工・1年 情報処理入門 本城				教・2年 教育メディアとコンピュータ 市原
水		工・院1年 生体運動解析法特論 岡内	教・経・医・工 マルチメディアとコミュニケーション 市原		
木	工・1年 情報処理 高坂				教・2年 教育メディアとコンピュータ 市原
金					工・2年 建築材料実験 大谷(12/19)

教：教育福祉科学部 経：経済学部 工：工学部 医：医学部

教室使用状況

センター2F・第2実習室（システムB） Windows8.1Pro パソコン 60+1台

平成26年度・前期

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 13:10～14:40	IV 14:50～16:20	V 16:30～18:00
月		工・院1年 流体機械特論 栗原		工・3年 プログラミング演習 石松	工・1年 電気電子工学入門 近藤・楠
火					
水	工・2年 建築環境工学I 富来(4/16)	工・2年 建築環境工学I演習 富来(4/16)			
木		工・1年 情報処理入門 吉岡			
金	工・1年 エネルギー工学基礎 後藤(4/18)	工・院1年 情報システム特論第1 吉田	工・1年 情報処理概論 松尾	工・3年 Cプログラミング 池内	

平成26年度・後期

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 13:10～14:40	IV 14:50～16:20	V 16:30～18:00
月				工・2年 建築環境工学II 大鶴	工・2年 建築環境工学II演習 大鶴
火			工・2年 計算力学 石松	工・3年 機械設計製図III 斉藤	工・3年 機械設計製図III 斉藤
水		経・工・医・全学年 情報処理入門 本城	工・院1年 MOT特論III 大井(12/10・17)	工・院1年 MOT特論III 大井(12/10・17)	
木	工・1年 情報処理 高坂	工・1年 情報処理入門 吉岡		工・3年 機械工学実験II 石松	
金	工・1年 情報処理演習 高坂	工・1年 生体運動制御論 前田		教・2年 コンピュータと芸術 清水・久間	

教：教育福祉科学部 経：経済学部 工：工学部 医：医学部

※センター3F・第3実習室（システムC） Windows8.1Pro パソコン 10台は自習室として開放

教室使用状況

教育福祉・情報教育システム室（システム D） Windows8.1Pro パソコン 32+1 台

平成 26 年度・前期

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 13:10～14:40	IV 14:50～16:20	V 16:30～18:00
月				教・1年 基礎ゼミ（情報教育） 大隈	
火		教・2年 プログラミング言語演習II 大岩	教・3年 デジタル情報演習 山下		
水		教・1年 基礎ゼミ（教科教育） 松田	教・1年 基礎ゼミ（発達教育） 藤田		
木			教・3年 情報システム I 大岩	教・3年 計算物理学入門 藤井(弘)	
金		教・3年 知能情報処理 大隈		教・2年 コンピュータ 大隈	

平成 26 年度・後期

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 13:10～14:40	IV 14:50～16:20	V 16:30～18:00
月					
火		教・2年 情報科学 I 大岩	教・1年 プログラミングと言語 大岩		
水		教・1年 情報基礎演習 山下			
木				教・2年 教育情報科学 山下・大隈	教・2年 数値情報処理 山下
金				教・1年 プログラミング言語演習 I 山下	

教：教育福祉科学部 経：経済学部 工：工学部 医：医学部

※教育福祉（システム E） Windows8.1Pro パソコン 23+1 台は自習室として開放

教室使用状況

経済学部・情報処理第1実習室（システムF） Windows8.1Pro パソコン 50+1台

平成26年度・前期

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 13:10～14:40	IV 14:50～16:20	V 16:30～18:00
月				経・1年 情報リテラシーI 阿部（史）	経・1年 情報リテラシーI 阿部（史）
火					
水					
木					
金					経・2年 中級演習I 大呂

平成26年度・後期

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 13:10～14:40	IV 14:50～16:20	V 16:30～18:00
月					
火		経・2, 3年 会計情報システム論 大崎			
水					
木					
金					

教：教育福祉科学部 経：経済学部 工：工学部 医：医学部

教室使用状況

教養教育棟・CALL 教室（システム G） Windows8.1Pro パソコン 74+1 台

平成 26 年度・前期

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 13:10～14:40	IV 14:50～16:20	V 16:30～18:00
月	工・2,3,4 年 基礎電磁気学 近藤			経・2 年 総合英語Ⅲ 雲	経・2 年 総合英語Ⅲ 雲
火		教・1 年 オラル・イングリッシュ 柳井			工・1 年 物理学基礎 近藤
水	経・1 年 基礎英語 I 中達	経・1 年 基礎英語 I 中達	経・医・工・全学年 情報処理入門 本城	教・全学年 情報処理入門 坂井	
木		経・工・全学年 情報処理入門 本城	教・2 年 応用英語 E 利光		経・1 年 情報リテラシーⅡ 平川
金					

平成 26 年度・後期

	I 9:00～10:30	II 10:40～12:10	III 13:10～14:40	IV 14:50～16:20	V 16:30～18:00
月			工・全学年 熱力学 近藤		経・1 年 情報リテラシーⅡ 藤村
火		教・1 年 オラル・イングリッシュ 柳井			経・1 年 情報リテラシーⅠ 松隈
水	経・1 年 総合英語Ⅱ 中達	経・医・工・全学年 情報処理入門 本城	経・医・工・全学年 情報処理入門 本城		
木		経・工・全学年 情報処理入門 本城	教・1 年 応用英語 E 利光		経・1 年 情報リテラシーⅡ 平川
金				教・2 年 英語音声訓練・音声英語研究 柳井／染矢	

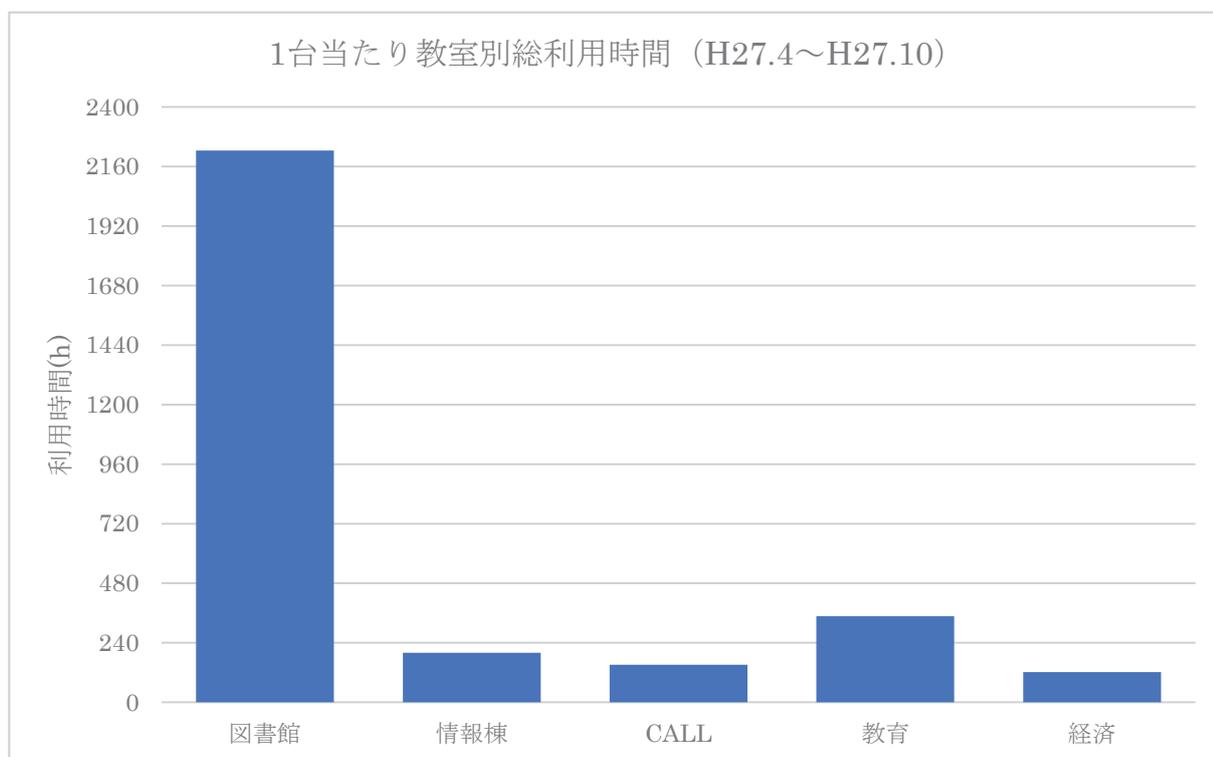
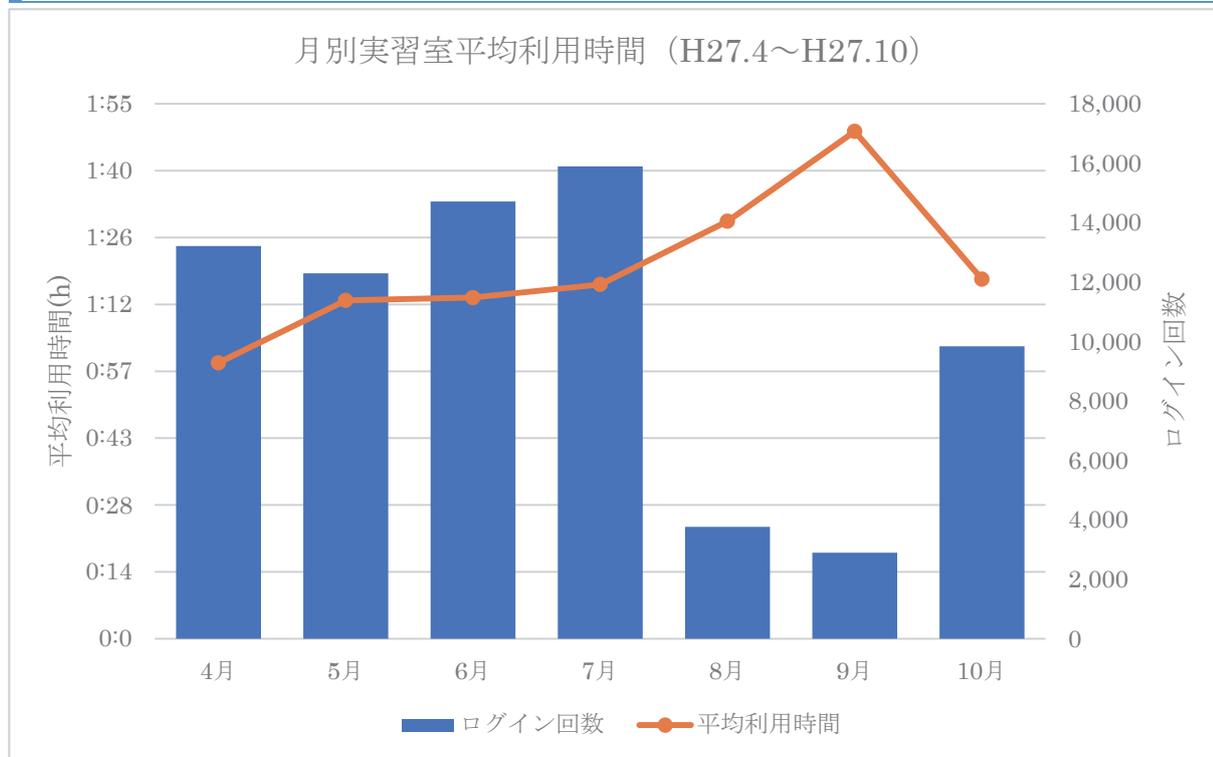
教：教育福祉科学部 経：経済学部 工：工学部 医：医学部

※図書館 Windows8.1Pro パソコン 10 台は自習室として開放

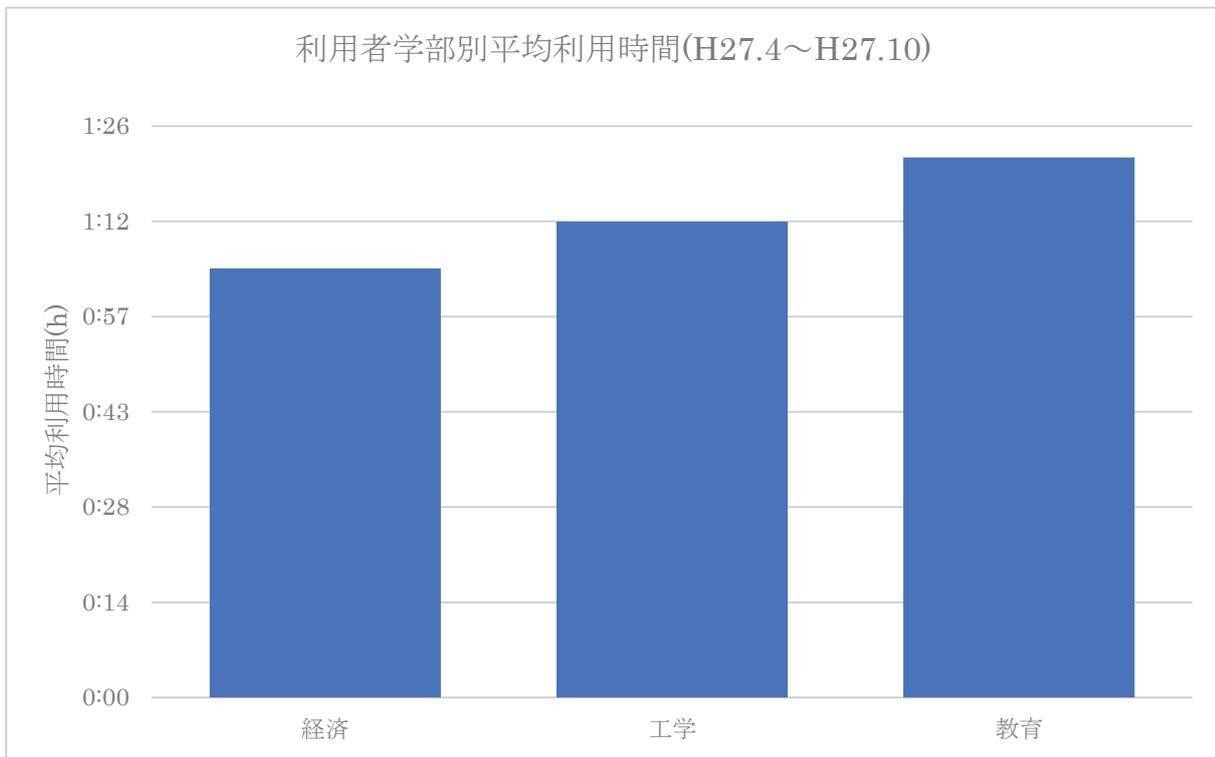
※各教室授業時間以外は自習室として開放

システム利用統計

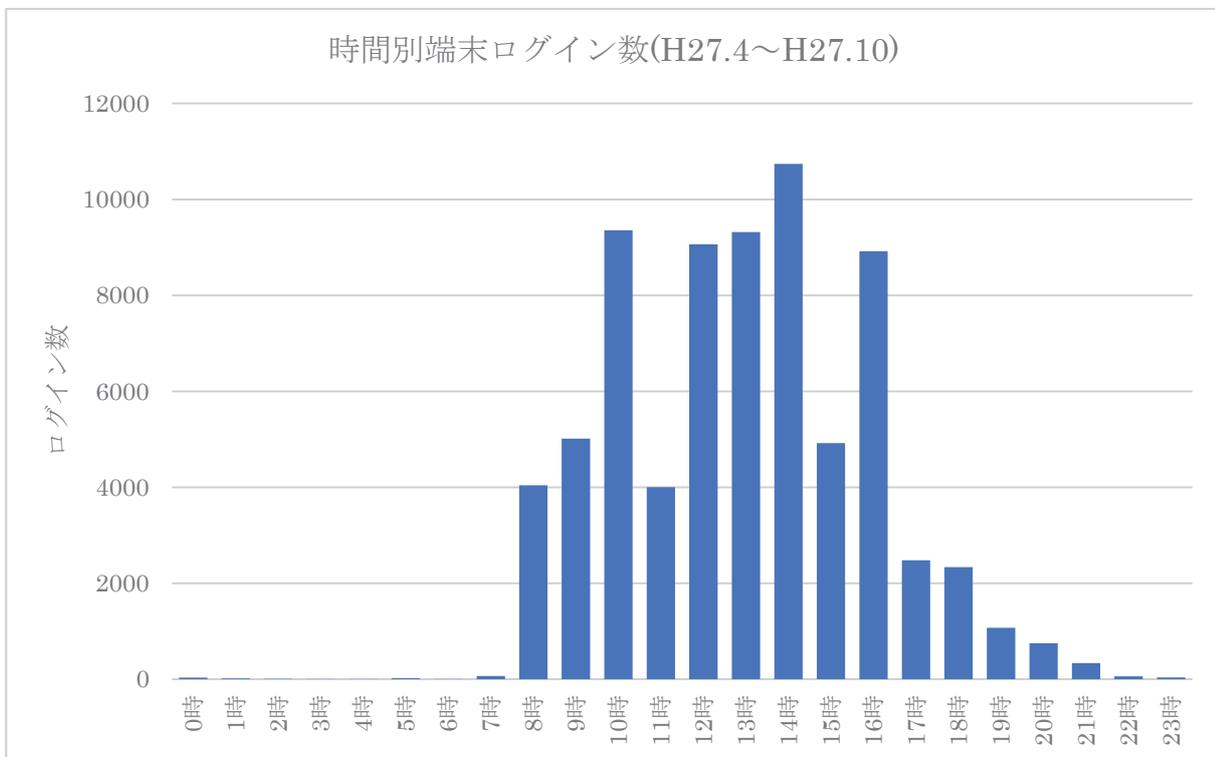
実習室端末利用状況（旦野原キャンパス）



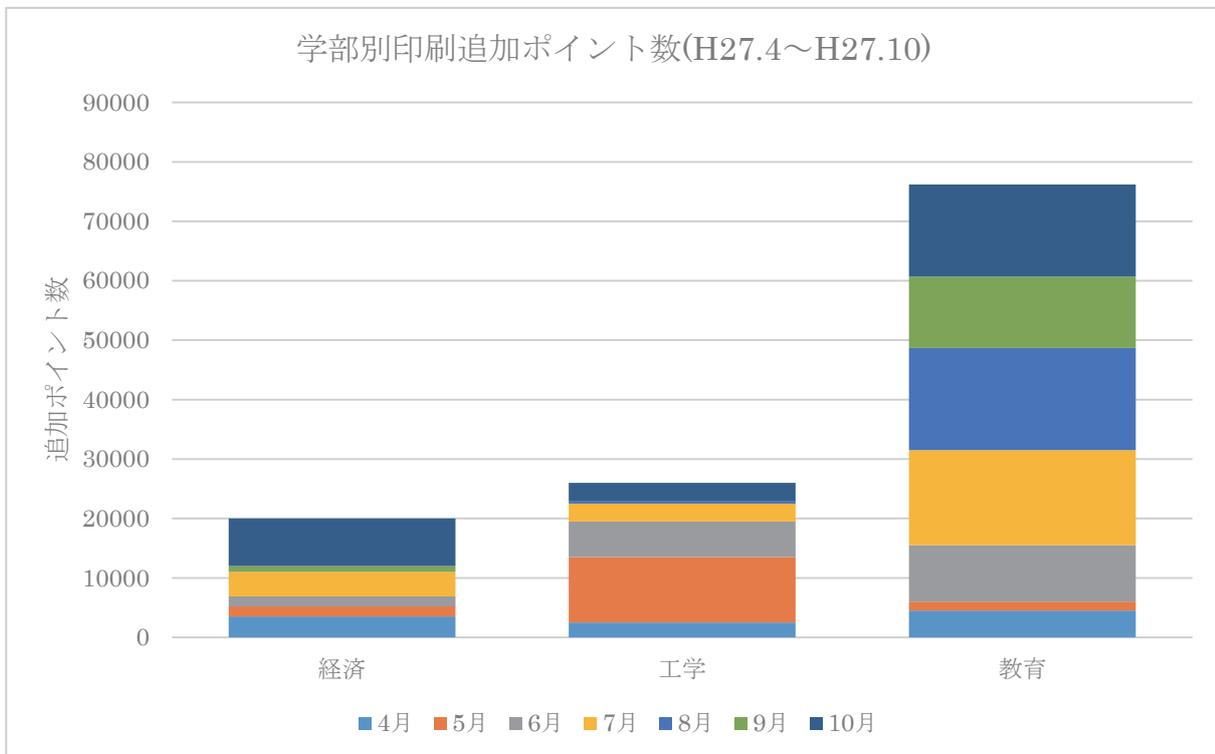
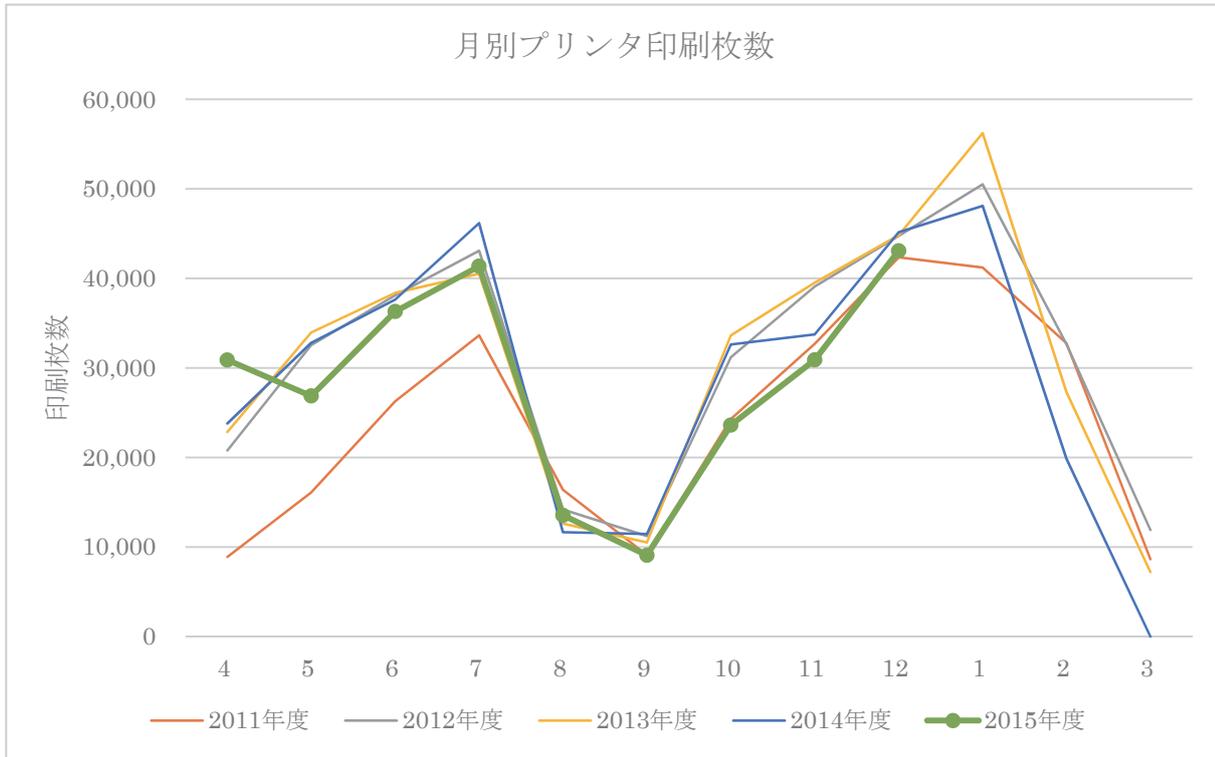
利用者学部別平均利用時間(H27.4～H27.10)



時間別端末ログイン数(H27.4～H27.10)

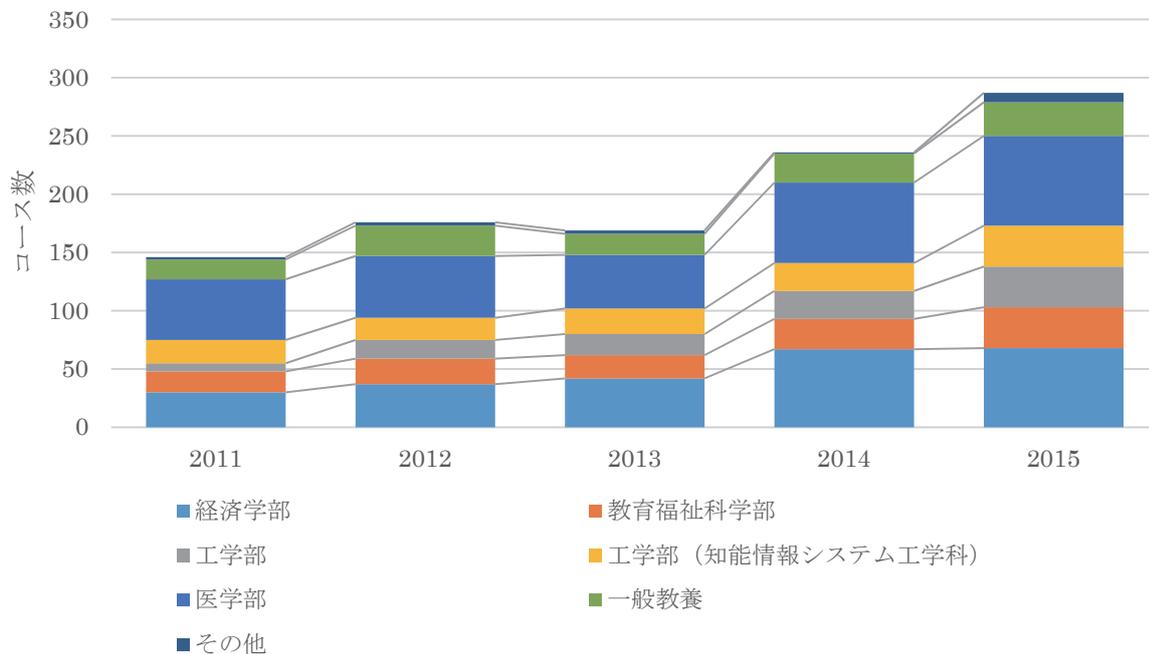


プリンタ利用状況（巨野原キャンパス）

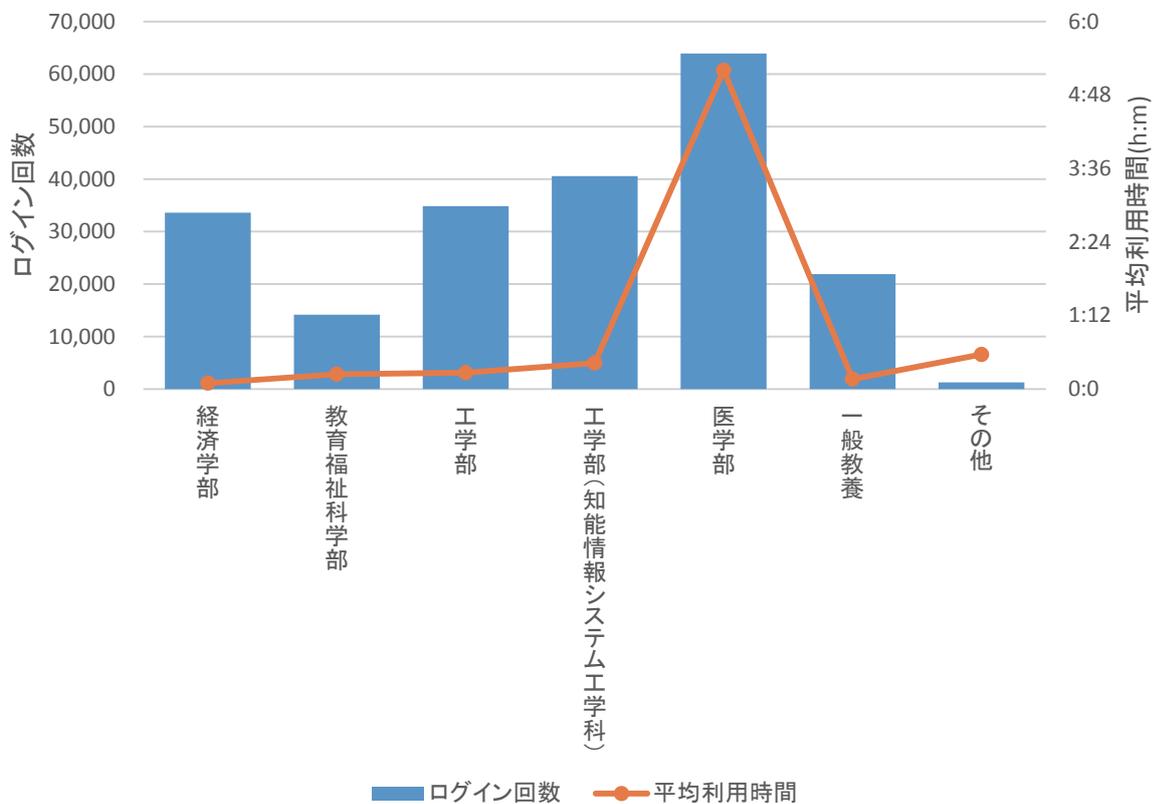


WebClass 利用状況

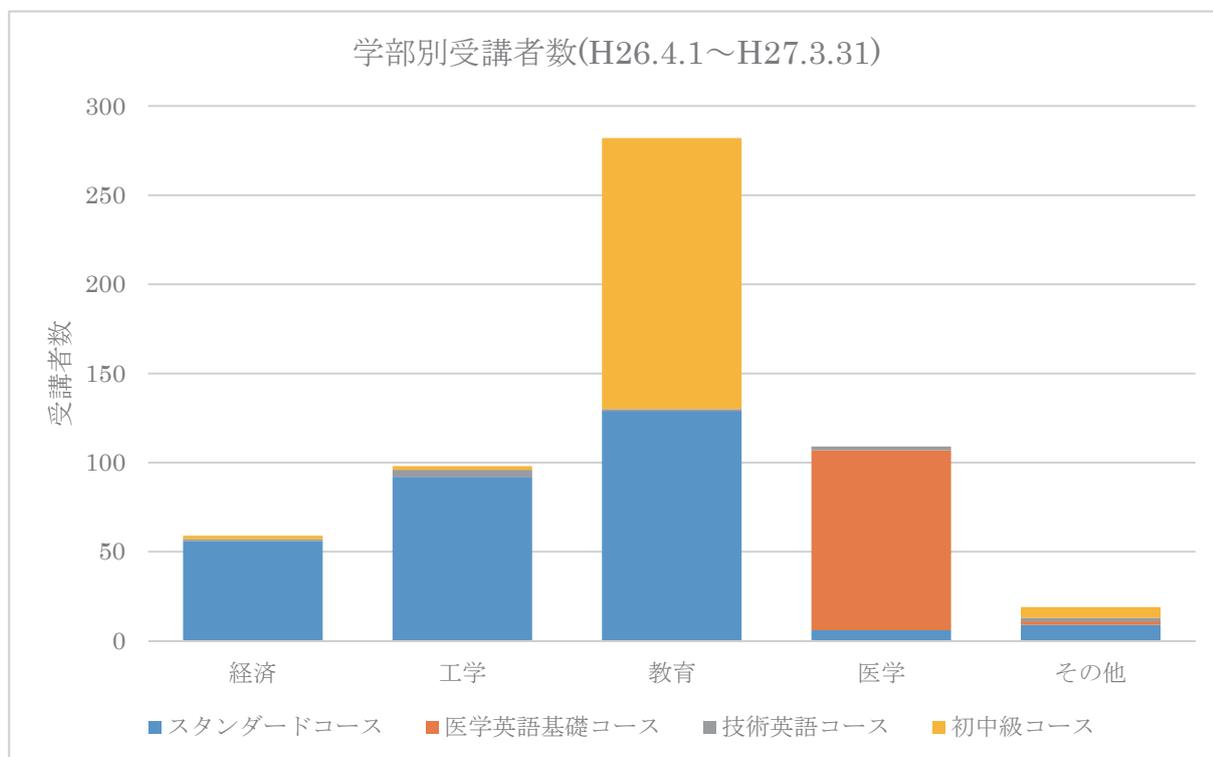
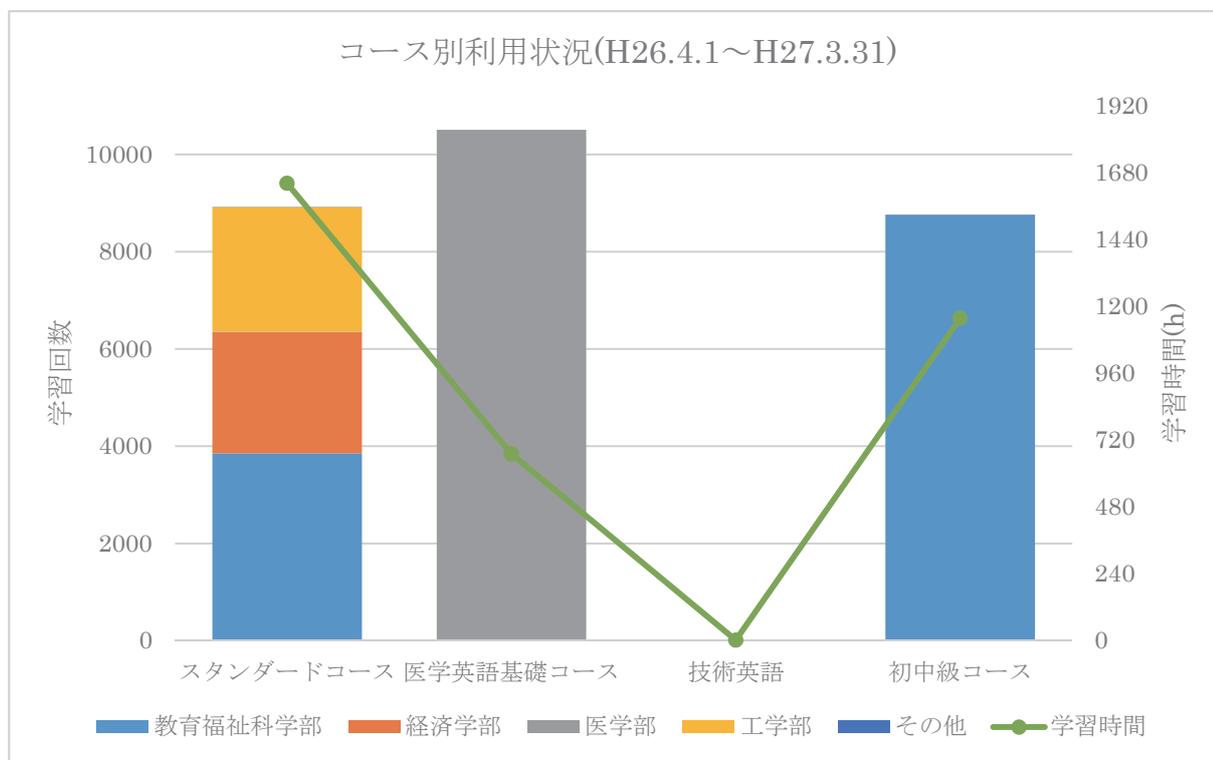
年度別コース開設数



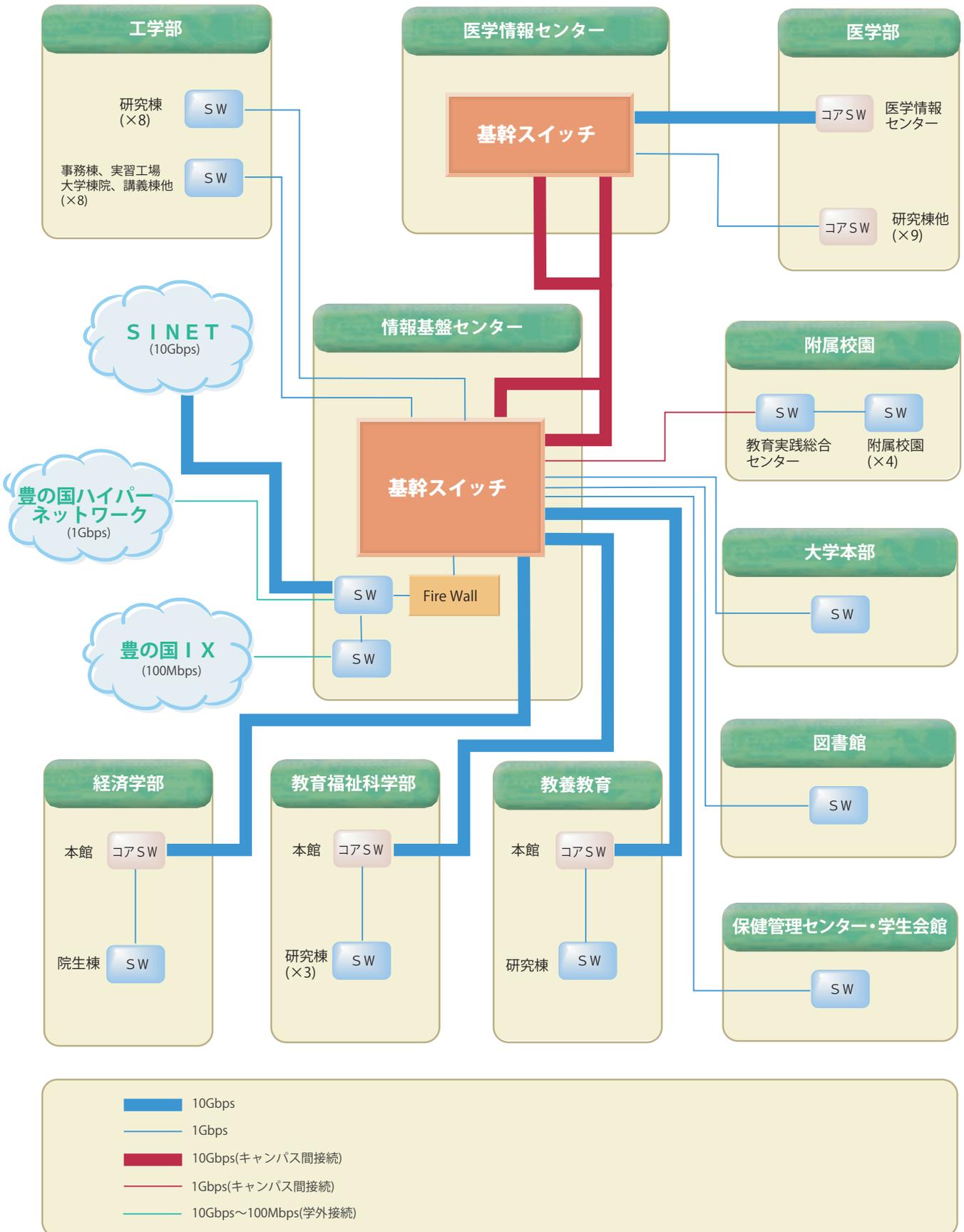
対象学部別利用状況(H26年度)



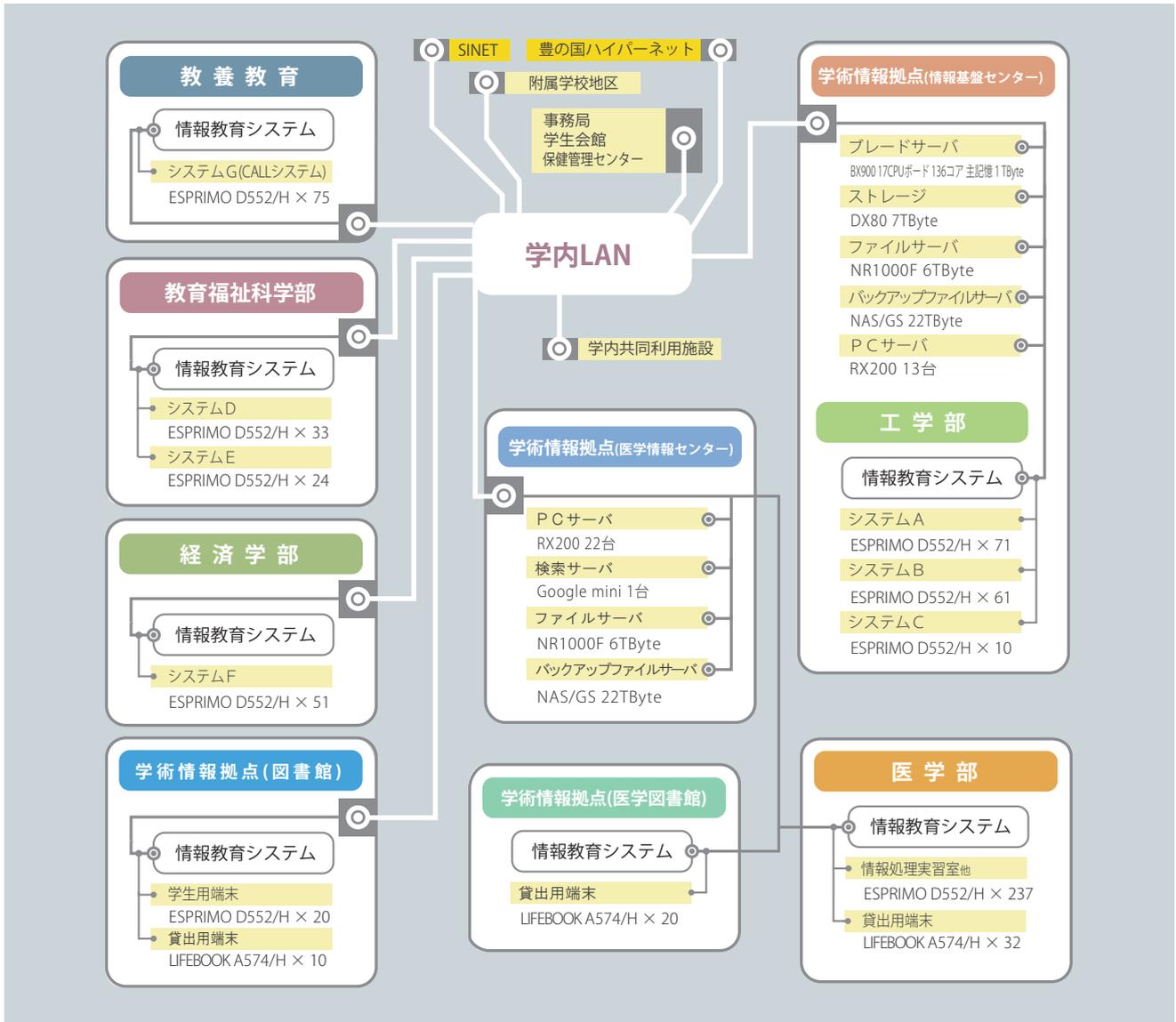
ALCNetAcademy 利用状況



キャンパスネットワークシステム構成図



基盤情報システム構成図



委員会名簿(H27.11.1 現在)

学術情報拠点

役職名等	氏名	任期
拠点長	岸田 哲子	H27.10.1～H29.9.30
副拠点長（情報基盤センター担当）	吉田 和幸	H26.4.1～H28.3.31
副拠点長（医学情報センター担当）	島岡 章	H26.7.1～H28.6.30

学術情報拠点運営会議

役職名等	氏名	任期
拠点長	岸田 哲子	H27.10.1～H29.9.30
副拠点長（情報基盤センター担当）	吉田 和幸	H26.4.1～H28.3.31
副拠点長（医学情報センター担当）	島岡 章	H26.7.1～H28.6.30
学術情報室長	中島 誠	H27.11.16～H29.11.15
情報基盤室長	真鍋 正規	H27.11.16～H29.11.15
専任教員	吉崎 弘一	H27.4.1～
教育福祉科学部 教授	平田 利文	H26.4.1～H28.3.31
経済学部 准教授	宮下 清	H27.4.1～H28.3.31
工学部 教授	後藤 真宏	H26.4.1～H28.3.31
医学部教授	石崎 敏理	H26.4.1～H28.3.31
研究・社会連携部長	安部 武志	H27.4.1～

情報基盤専門委員会

役職名等	氏名	任期
拠点長	岸田 哲子	H27.10.1～H29.9.30
副拠点長（情報基盤センター担当）	吉田 和幸	H26.4.1～H28.3.31
副拠点長（医学情報センター担当）	島岡 章	H26.7.1～H28.6.30
情報基盤室長	真鍋 正規	H27.11.16～H27.11.15
専任教員	吉崎 弘一	H27.4.1～
協力教員（情報基盤担当）	池内 秀隆	H27.11.16～H29.11.15
教育福祉科学部 准教授	市原 靖士	H26.4.1～H28.3.31
経済学部 准教授	豊島 慎一郎	H26.4.1～H28.3.31
工学部 教授	戸高 孝	H26.4.1～H28.3.31
医療情報部長	三宅 秀敏	H26.4.1～H28.3.31
医学部医学科 教授	谷川 雅人	H26.4.1～H28.3.31
医学部看護学科 教授	井上 亮	H26.4.1～H28.3.31
学術情報課長	瓜生 照久	H27.4.1～

情報基盤室

役職名等	氏名	任期
情報基盤室長	真鍋 正規	H27.11.16～H29.11.15
専任教員	吉田 和幸	H27.11.16～H29.11.15
協力教員	仲野 誠	H27.11.16～H29.11.15
協力教員	池内 秀隆	H27.11.16～H29.11.15

情報基盤専門委員会 広報部会

役職名等	氏名	任期
副拠点長（情報基盤センター担当）	吉田 和幸	H27.1.1～H28.12.31
副拠点長（医学情報センター担当）	島岡 章	H27.1.1～H28.12.31
教育福祉科学部 准教授	甘利 弘樹	H27.1.1～H28.12.31
経済学部 准教授	豊島 慎一郎	H27.1.1～H28.12.31
工学部 教授	戸高 孝	H27.1.1～H28.12.31
医学部 准教授	下田 恵	H27.1.1～H28.12.31
情報基盤センター技術職員	矢田 哲二	H27.1.1～H28.12.31

大分大学学術情報拠点(情報基盤センター)

利用ガイド(2015年度)

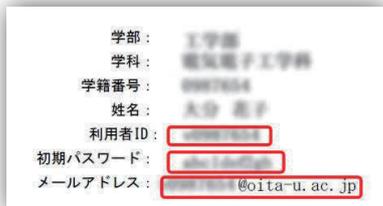
<http://www.cc.oita-u.ac.jp/>



窓 口 : 情報基盤センター1階 事務室(平日 9:00~16:00)
 電 話 : 内線 7985 (外線からは 097-554-7985)
 F A X : 内線 7990 (外線からは 097-554-7990)
 M a i l : center@oita-u.ac.jp
 W e b : <http://www.cc.oita-u.ac.jp/toiawase.html>
 (お問い合わせフォーム) **E**

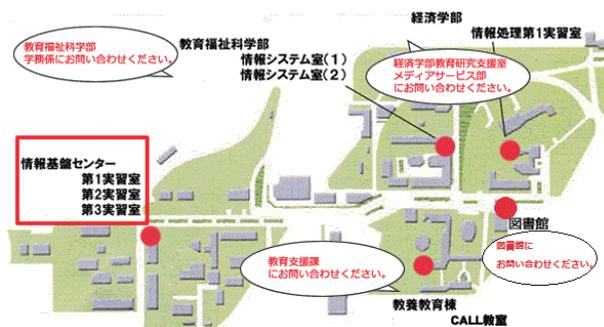
1. 利用者IDカードについて

センターから、「利用者ID」と「初期パスワード」を印刷した名刺大の「利用者IDカード」が提供されます。
 皆さんの所属の学部・学科で配布を受けてください。



2. 利用者IDとパスワードで利用可能なシステム

2-1. 情報教育システム



[1] 実習室パソコンの利用

実習室のPCを起動すると、下図の画面が表示されます。
 “利用者IDカード”に記載されている、利用者IDと初期パスワードを入力してください。
 初回利用時には、必ず初期パスワードの変更が必要です。
 画面に従い、入力条件に注意し、パスワード変更を行ってください。



[2] プリンター(オンデマンドプリンタ)の利用

プリンタは、図書館(2台)、情報基盤センター1F印刷室(1台)設置しています。
 実習室または図書館のパソコンから、どちらのプリンタにも印刷をすることができます。

1. プリンタは図書館(libpr)または情報基盤センター(itcpr)のどちらかを選択します。必要なポイントは同じです。
 図書館のプリンタはモノクロ A4 サイズのみとなっています。
2. プリンタが設置されている場所に行き、プリンタ操作端末にログインします。
 次の3つの方法のいずれかでログインします
 (方法1) 学生証を磁気カードリーダーに通す
 (方法2) 登録済み Felica カードを IC カードリーダーにかざす
 (方法3) ユーザー名(ユーザーID)とパスワードを手入力する

3. ログインすると保留中のジョブ・リストが表示されますので印刷したいドキュメント名を選んで、印刷してください。

4. 印刷ポイントが減算されます
 印刷ジョブは 24 時間放置していると自動的に削除されます
 ※勝手に、用紙トレイを開けたり電源を触ったりしないでください！
 エラーメールが送信されます。

何らかの原因で印刷できなかった場合は、すぐに情報基盤センター事務室(554-7985)までご連絡ください！

放置していると、障害が解消された後に出力されてしまう場合があります！

- 無料印刷上限値 5,000 ポイントが付与されています。
 (白黒:10 ポイント/枚、カラー:50 ポイント/枚)

・印刷ポイント確認方法

実習室でパソコンにログインすると、画面右上に残ポイントが表示されますので、確認してください

※情報基盤センター1F印刷室のみ、カラープリント可能。

● 上限値を増やすには・・・

大学生協(書籍・パソコンカウンター)で、
 プリント用紙の引換券(500P/400 円または 100P/100 円)を購入し、引換券と学生証を持って情報基盤センター事務室にお越しください。(平日 9:00~12:00、13:00~16:00)

2-2. 電子メール(DEEPMail)の利用

[1] 電子メールアドレスについて

あなたの利用者 ID @oita-u.ac.jp

[2] “DEEPMail”とは

DEEPMail は、全学での推奨メールサービスです。
 ブラウザ(閲覧ソフト)から利用できる電子メールソフトです。どのパソコンやモバイル端末からでも DEEPMail の機能を利用できます。

[3] “DEEPMail”利用方法

ブラウザを起動し、情報基盤センターHPの「Web メール」をクリックします。



モバイルはこちら



下図の画面が表示されますので、“利用者ID”と変更した“パスワード”を入力し、ログインしてください。



[4] その他

- ・サーバでのメールの保管期間は 180 日間となっています。
 保管用のフォルダを作成し、受信トレイからメールを移動すれば、在学期間中はサーバにメールを保存しておくことができます。
- ・携帯電話への着信通知設定をしておく便利です。
- ・添付ファイルは、マナーとして 5Mbyte 以内にしましょう。
 5Mbyte を超えるファイルは、DEEPMail オプションの“Web ファイル機能”を利用しましょう。

2-3. eラーニングの利用について

- 【1】“WebClass(授業補助教材)”の利用方法
ブラウザを起動し、情報基盤センターHPの「WebClass」をクリックします。



“利用者ID”と変更した“パスワード”を入力し、ログインしてください。

＜コンテンツについて＞

コンテンツとして、“INFOSS 情報倫理”および授業で利用するものがあります。

“INFOSS 情報倫理”は、大分大学に所属する人は誰でも利用できます。早い機会に学修して、情報セキュリティの基礎を身につけておきましょう。

授業で利用するコンテンツに関しては、授業担当の先生より指示があります。

- 【2】“ALC NetAcademy2(英語教材)”の利用方法
ブラウザを起動し、情報基盤センターHPの「ALC」をクリックします。



“利用者ID”と変更した“パスワード”を入力し、ログインしてください。

＜コンテンツについて＞

コンテンツとして、スタンダードコース、初級中級コース、技術英語基礎コース、医学英語基礎コースの4コースがあります。大分大学に所属する人は誰でも利用できます。

本教材を利用して、TOEIC 等、英語の検定試験にチャレンジしてください。Internet Explorer で利用してください。

なお、英語の講義で、本システムを利用することがあります。その際は、先生の指示に従ってください。

2-4. 無線LANの利用について

- 【1】無線LANのアクセスポイントと設定値について

ESSID	暗号化	事前共有キー
20100ITA1 20100ITA2 20100ITA3 20100ITA4 20100ITA5	WPA2/AES	OITAUNIVERSITY1592 (半角大文字です！)

※設定方法は各パソコン等の無線LANの説明書をご覧ください。

自分のパソコンを大学で使用する場合は、無線LANで接続できます。

本学の“キャンパスネットワークシステム”では上記のESSIDのアクセスポイントが設置されています。これらのアクセスポイントは学内各所に設定されていますので上記の設定値を参照して利用してください。

利用の都度、認証サーバにより利用者IDとパスワードで認証を行います。

注)利用するパソコンはワクチンソフトが必須となっています。

注)モバイルルータ、テザリングなどは、アクセスポイントとの干渉を防ぐため、サービスの停止または電源を切るなどしてください。

2-5. CAMPUS SQUARE(教務情報システム)について

- 【1】“CAMPUS SQUARE(教務情報システム)”の利用方法
ブラウザを起動し、情報基盤センターHP下段の「CAMPUS SQUARE」をクリックします。



“利用者ID”と変更した“パスワード”を入力し、ログインしてください。

- ・履修登録や成績照会などのシステムです。
- ・システムに関するお問い合わせは、教育支援課へ。

3. システム利用上の注意

3-1 情報教育システム室(実習室)の利用について

- (1) 教育・研究目的以外の使用はできません。
- (2) 授業時間中は受講者以外の立入は禁止です。
- (3) 埃などから機器を守るため、窓は常に閉めておくようにしてください。
- (4) 飲食は指定された場所をお願いします。
- (5) 自習利用時間中であっても、携帯電話による通話はしないでください。
- (6) パソコン等使用機器に異常があった場合は、事務室まで速やかに連絡してください。(事務室 554-7985)
- (7) パソコン等へのソフト組み込みや許可されていない機器の接続は禁止です。また、各自のドキュメントフォルダ以外には、ファイルを作成しないでください。

3-2 電子メールの利用について

- (1) 自分のメールアドレス(利用者ID)を他人に使用させてはいけません。
- (2) 不審な添付メールは開かないようにしてください。
- (3) 容量のファイルをメールに添付しないでください。(5MB 以内。ただし携帯電話へ送信する場合は、1MB 以内。)
- (4) 不要メールは削除、必要なメールはファイルに保存するなどして既読メール、送信済メールは随時サーバから削除するようにしてください。

3-3 インターネットの利用について

- (1) 出所が定かでない外部記憶メディアをパソコンに挿入しアクセスすることは、ウイルスに感染している場合もあり大変危険です。中身を確認する前にウイルスチェックを行うようにしてください。
- (2) インターネットは匿名ではありません。自分の行動に責任をもって利用するよう心がけてください。

3-4 パスワードの管理について

- (1) センター発行のパスワードは、銀行の暗証番号と同じように大切なものです。定期的に変更して、管理には十分注意してください。
- (2) 万が一、パスワードを忘れたら、学生証持参のうえ、本人が情報基盤センター事務室までお越しください。

4. 情報基盤センターホームページ

<http://www.cc.oita-u.ac.jp/>



全ての情報は情報基盤センターホームページにて、詳細を公開しています。実習室のPCにログイン後表示される「インフォメーション」も随時更新していますので、確認しましょう！
※一部、学内制限となっています。ご注意ください。

各種申請書

情報基盤センターが提供する各種サービスの利用にあたっては、下記の手続きが必要になります。利用申請は、申請書にて申し込みいただく場合と Web から申し込みいただく場合の 2 通りに分かれています。申請書様式は以下のいずれかから入手できます。

- 情報基盤センター事務室窓口
- 情報基盤センターWeb ページ <http://www.cc.oita-u.ac.jp/> から、各種申請書のフォームまたは PDF ファイルへのアクセス

(1) 「プリンタ利用申請書」(様式第 1 号)

サービス： 情報基盤センターのカラープリンタ（コピー機）・大判プリンタ・学生用プリンタ（印刷室・図書館）を利用することができます。

申請対象者： 本学教職員

備考： 詳しくは『情報基盤センターのプリンタ利用に関する手引き』をご覧ください。

(2) 「固定 IP アドレス申請書」(様式第 2 号)

サービス： ネットワークに情報機器を接続するため、固定 IP アドレス／ホスト名の新規割当て、変更、終了（抹消）を行います。

申請対象者： 本学教職員

備考： 変更の場合、その内容を具体的に備考欄に記述してください。設置者を変更する場合は新管理者を申請者として申請し、現管理者の署名、捺印を備考欄に記述してください。

(3) 「実習室利用申請書」※Web フォーム

サービス： 本学の教育課程に基づく授業に関連した情報処理教育で、情報基盤センター施設を利用することができます。

申請対象者： 授業を担当する本学教職員

学外者が授業を担当する場合は、受入責任者

備考： 毎年 1 月頃に翌年度の定期利用の受付を行います。情報教育システム室の利用時間が競合する場合には、利用時間を移動するなどセンターで調整することがあります。1 月末をめどに調整を行い申請者に通知します。なお、調整終了後は先着順で受付を行います。

(4) 「WebClass コース作成申請書」 ※Web フォーム

サービス： WebClass でコースを作成することができます。

申請対象者： 本学教職員

学外者がコースを開設する場合は、受入責任者

備考： コースは年度毎に管理されますので、年度更新する場合は、新規申請で新コースを開設するかコースの再利用作業が必要になります。

各種著作物のデータを扱う際には、著作権を侵害しないよう十分に注意してください。

(5) 「ワクチンソフト利用申請書」 ※Web フォーム

サービス： ワクチンソフト Symantec Endpoint Protection を利用することができます。

申請対象者： 本学教職員

備考： ワクチンソフトを最新の状態で使用することは、学内 LAN に接続するための必須条件です。適切な設定を行い、常時ウイルスのチェックを行ってください。

(6) 「ホスティングサービス利用申請書」(様式第3号)

サービス： センターのサーバにホームページなどのコンテンツをおいて、ホスティングサービスを利用することができます。

申請対象者： 本学教職員

※管理者(申請者)は、十分な知識・技術がある方に限ります。

備考： 教育研究利用を目的とする「組織」での利用を原則とし、個人での申請はできません。サーバ(共有サーバ方式)の管理権限(root)は情報基盤センターが所有し、申請者は本センターが発行する管理者権限の範囲で構築を行います。

(7) 「ファイアウォール開放設定申請書」(様式第4号)

サービス： 学内にサーバを設置し、学外に向けて公開するなど、ファイアウォールでの学外との通信制限を解除することができます。

申請対象者： 本学教職員

備考： 開放するポート番号によっては、「理由書」の提出が必要な場合があります。

(8) 「サブドメイン名申請書」(様式第5号)

- サービス： サブドメイン名の割当てを受けることができます。
申請対象者： 本学教職員
備考： 本学を代表するサーバとなりますので、命名の際はご注意ください。

(9)「サブネットワーク申請書」(様式第6号)

- サービス： 学内の建物内に独自に支線ネットワークを敷設し、IP ネットワークアドレスの割当てを受けることができます。
申請対象者： 本学教職員
備考： DHCP サーバを利用して情報機器を支線ネットワークに接続するときは、IP アドレスの必要個数を申請し、割当てを受けてください。支線ネットワークの運用管理及び保守は各建物を管理する部局が行い、複数の部局にまたがる場合は、その部局間で協議し責任部局を決めるものとします。支線ネットワークの維持、設置及び変更に要する経費は、当該部局が負担するものとします。

(10)「無線 LAN アクセスポイント設置申請書」(様式第7号)

- サービス： 無線 LAN アクセスポイントを設置することができます。
申請対象者： 本学教職員
備考： 必ず暗号化の設定をして運用を行ってください。WEP、WPA、WPA2 と呼ばれる暗号化方式がありますが、WEP はセキュリティ強度が弱く、アクセスポイントが不正に利用される可能性があるため使用しないでください。また、WEP しか利用できない機器も WPA2 対応の機器に更新するよう努めてください。

(11)「一時インストール申請書」(様式第8号)

- サービス： センターの管理するシステムへ教育用ソフトウェアをインストールすることができます。
申請対象者： 本学教職員
備考： 当該ソフトウェアが有償の場合、その経費負担者の署名、捺印を必要とします。遅くとも当該ソフトウェアの使用開始の1ヵ月前までに申請してください。

(12)「メーリングリスト申請書」(様式第9号)

- サービス： メーリングリストの作成・管理をすることができます。
申請対象者： 本学教職員
備考： DEEPMail で登録したメーリングリストの管理ができるようになります。

(13) 「共通スケジュール利用申請書」※Web フォーム

サービス： DEEPMail のスケジュール機能において、研究室などの小グループのメンバー間で共有して利用できる共通スケジュールの作成・管理をすることができます。

申請対象者： 本学教職員

備考： 作成された共通スケジュール（スケジュール名）は、大分大学の学生を含む利用者全体に一覧表示されますが、スケジュール内容の表示は、メンバー（閲覧権限や登録権限を与えた利用者）のみに制限されます。

(14) 「利用者 ID の利用停止申請書」※Web フォーム

サービス： 利用者 ID の利用を終了します。

申請対象者： 本学教職員

備考： 退職などで利用を終了される方はすみやかに申請願います。なお、定年退職される方は事前にメール等でご連絡いたします。

挟間キャンパス（医学情報センター）の利用案内

挟間キャンパスでの基盤情報システムの利用のしかたは、医学情報センターのホームページに記載しています。 <http://med.oita-u.ac.jp/mic/>

1. 利用申請

(1) 利用者（個人）登録申請

基盤情報システムを利用したい方は、オンラインで利用申請を提出し許可を受けてください。

申請が承認・登録された後申請者に ID とパスワードを学内便で送付します。学部学生・大学院学生は入学時に学生用 ID を発行しますので申請する必要はありません。

(2) 利用者（グループ）登録申請

学会やサークルなどのメールアドレスを作りたい場合はこの申請をしてください。

(3) 端末接続申請

パソコンやプリンタ等の機器を LAN に接続したい場合はオンラインで設置申請を提出し、許可を受けてください。「挟間キャンパスの情報ネットワークに接続する機器の満たすべき技術的基準」を遵守してください。セキュリティ対応が行われていないパソコンは接続を許可しません。

(4) ワクチンソフト利用申請

ワクチンソフトの利用は必須です。基盤情報システムでワクチンソフトを無償で提供しています。オンラインで申請をするとダウンロードとインストールのしかたがメールアドレス宛に送付されます。

(5) ワンディアアカウント（ゲスト ID）申請

来客や研究会、短期留学生などで持込んだパソコンを LAN に接続するためのアカウントを発行します。職員が代理でオンラインで申請すればメールで ID とパスワードがリアルタイムに送付されます。

2. ネットワーク接続方法

(1) ユーザ認証

1日1回 LAN 接続時に ID とパスワードで認証を行って利用します。

(2) 端末認証

端末接続許可あるいはワンディアアカウントがないと LAN に接続できません。

(3) 無線の利用

挟間キャンパスのほぼ全域で無線 LAN が利用できます。

(4) 利用制限

挟間キャンパスから学外への利用は HTTP と HTTPS だけに制限されています。またキャンパス外に接続するときにはプロキシを経由します。キャンパス外から内部の機器への接続はできません。

3. 利用相談

ネットワーク・メールトラブル・ウイルス駆除等のご相談は内線[6231, 6078]またはメール(micenter@oita-u.ac.jp)にてお願いします。

4. 学生が利用できるパソコン

情報処理実習室 120 台、自己学習室 60 台、チュートリアル教室 26 台
臨床講義棟ホール 60 台、臨床大講義室 60 台、看護学科棟資料室 10 台
医学図書館 20 台、貸出用ノートパソコン 32 台

学認の利用について

大分大学学術情報拠点では、これまで進めてきた学術認証フェデレーション（学認：後述参照）への参加準備を完了し、2015年12月から学外の機関等が提供する以下の学認サービスを、学術情報拠点が発行したID／パスワードで利用できるようにしました。

■ 利用可能な学認サービス（2016年1月現在）

サービス名	利用対象者
国立情報学研究所 FaMCUs (テレビ会議多地点接続サービス)	本学の教職員
国立情報学研究所 FShare (ファイル共有サービス)	本学の学生・教職員
国立情報学研究所 学認連携 Moodle 講習サイト	
アットウェア しぼすけ (イベントスケジュール調整)	
Masaryk University Atlases (病理学画像 DB)	

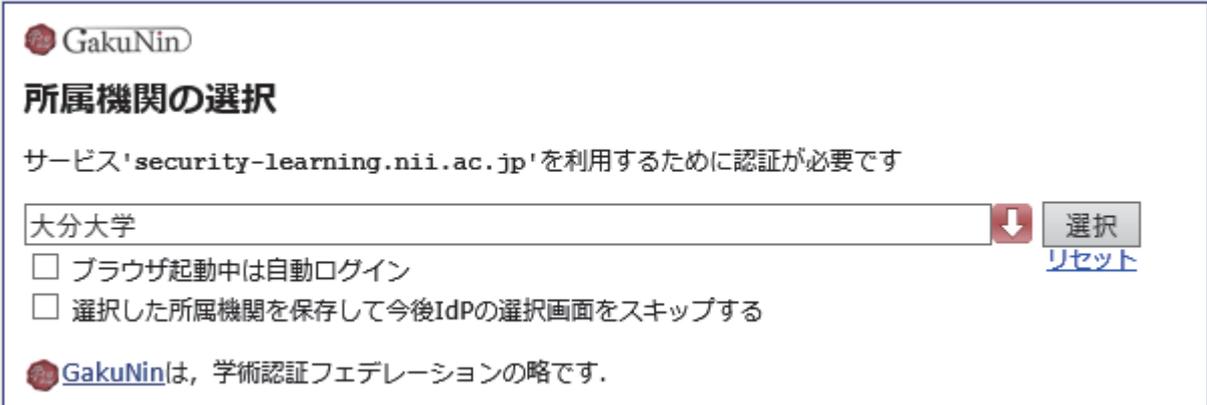
- ※ 利用可能なサービスは情報基盤センターホームページで随時更新していきます。
- ※ 利用にあたっては、サービス提供者の掲示する利用規約にしたがってご利用ください。

学認とは

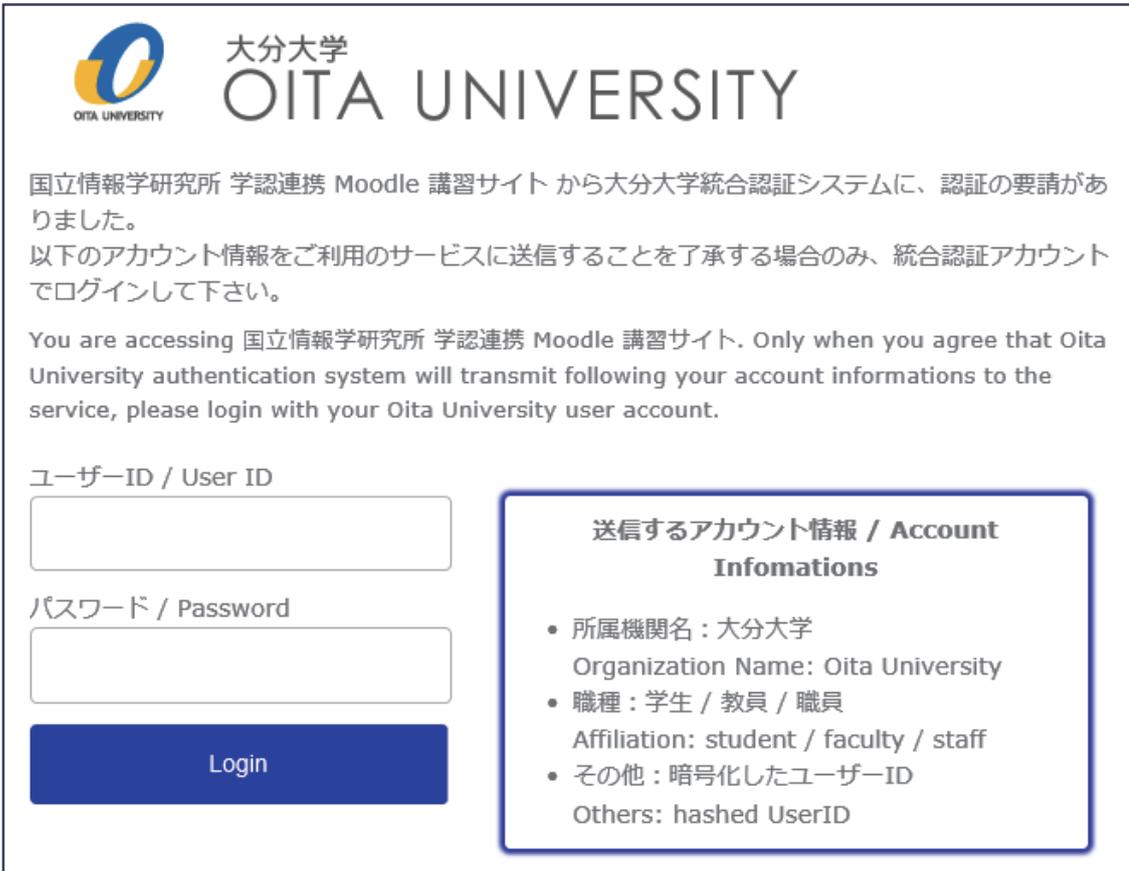
学術認証フェデレーション（学認）とは、学術電子情報を利用する大学と提供する機関等から構成された連合体です。学認に参加する各機関はフェデレーションが定めた規定を信頼しあうことで相互に認証連携を実現することが可能になります。

学認利用方法

- ① 利用するサービスの Web ページを開きます。
- ② ページの中にログインするための画面またはリンクがあります。リンクの場合はクリックします。
- ③ 所属機関を選択する箇所、 「大分大学」 を探して選択します。
(2回目以降の利用では、最初から所属機関が選択されていることがあります)



- ④ 「大分大学」 を選択して 「選択」 をクリックすると大分大学の認証画面が表示されます。



- ⑤ 大分大学の ID とパスワードを入力し 「Login」 をクリックします。